

SHARP®

SHARP
SOFTWARE
MANUAL

 **68030用**

**日本語入力・
辞書ユーティリティ**

ユーザーズマニュアル

 **68030**
32 bit PERSONAL WORKSTATION

日本語入力・
辞書ユーティリティ
ユーザーズマニュアル

SHARP®

はじめに

本書は、シャープパーソナルワークステーション「X68000/X68030シリーズ」の、日本語フロントプロセッサ ASK68K ver. 3.0を使った「日本語入力」と、辞書ディスクを整理する辞書ユーティリティについて説明しています。

ASK68K ver. 3.0の日本語入力は、すべてのアプリケーションで同じ方法ですので、本書の日本語入力をご理解いただければ、どのアプリケーションでも簡単に日本語が入力できます。

本書をご覧の上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

マニュアルの構成

取扱説明書

装置の組み立てや
取り扱い方

ウィンドウを使って
グラフィカルに
操作するには

ウィンドウを
使わないで
操作するには

SX-WINDOW
ユーザズマニュアル

SX-WINDOW の
詳しい使い方

Human68k
ユーザズマニュアル

Human68k の使い方

文書やテキストデータを
使うには

SX-WINDOW
日本語マルチフォントエディタ
ユーザズマニュアル

日本語エディタの使い方

自分でプログラムを
作ってみる

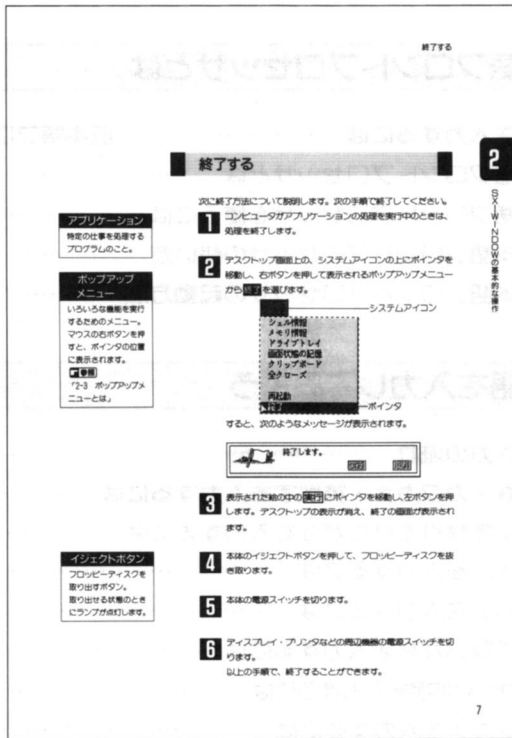
日本語入力・辞書ユーティリティ
ユーザズマニュアル

日本語を入力する方法
辞書の使い方

X-BASIC
ユーザズリファレンス
マニュアル

X-BASIC のプログラミング

本書の表記について



欄外の表記と意味

参照 参照していただきたいほかのページやマニュアルが書かれています。

囲み 本文中の用語を説明しています。

本文の表記と意味

A 押すキー

情報 ポップアップメニューから選ぶ項目

実行 ウィンドウやダイアログの中から選ぶスイッチ・ボタン

メモ 補助的な操作や、知っておいていただきたいことが書かれています。

注意 絶対にしてはいけないことが書かれています。

囲み 操作にともなって、おぼえていただきたいことがまとめられています。

1 日本語フロントプロセッサとは

- 1-1 日本語を入力するには 日本語フロントプロセッサ... 2
- 日本語フロントプロセッサとは 2
 - 日本語フロントプロセッサを使うには 3
 - 日本語フロントプロセッサの使い方 3
 - 日本語フロントプロセッサの起動方法 3

2 日本語を入力してみよう

- 2-1 日本語入力の流れ 8
- 2-2 ひらがな・カタカナ・英数字を入力するには 9
- ローマ字綴りでひらがなを入力するには ローマ字入力... 9
 - 「っ」を入力するには 10
 - 「ん」を入力するには 10
 - かなでひらがなを入力するには かな入力... 11
 - カタカナや英字を入力するには 12
 - カタカナを入力するには 12
 - 英字を入力するには 12
 - 文字を修正するには 14
 - ひらがなのままで入力するには 14
- 2-3 ひらがなを変換するには 15
- 変換するには 15
 - 変換する流れ 15
 - 一覧表から選択するには 表示選択モード... 16
 - 目的の漢字にならないときは 18
 - ひらがなをまちがえたときには 18
 - 文節の区切りを変えるには 19
 - ひらがな/カタカナ/英字に変換するには 21
- 2-4 いろいろな文字を入力するには 22
- 難しい漢字や記号を入力するには コード番号入力... 22
 - コード番号入力の種類 23
 - 漢数字を入力するには 24
- 2-5 難しい単語を変換できるようにするには 単語登録... 25
- 単語を登録するには 25

3 自分流の日本語入力にしてみよう

- 3-1 辞書の学習機能を切り替えるには 学習機能... 30
- 学習機能の切り替え 30

3-2	変換の方法を変えるには	先読み一括変換／一括変換／逐次自動変換	31
	先読み一括変換モード		31
	一括変換モード		31
	逐次自動変換モード		32
3-3	辞書を変更するには	辞書の変更	33
3-4	自分流に日本語を入力できるようにするには	環境ファイルの変更	34
	自分流の日本語入力とは		34
	環境ファイルとは		34
	環境ファイルを作るには		35
	環境ファイルを変更するには		35
	環境ファイル (ENV1.ASK) の初期設定		37
	環境ファイルのキーの表記法		38
	エラーメッセージ		39

4 辞書ユーティリティ

4-1	辞書ユーティリティとは		42
	●辞書ユーティリティを使うと		42
	●辞書ユーティリティを使うには		43
4-2	辞書を編集するには	辞書編集	44
	●単語を登録・編集するには		44
	●辞書ファイルを読み込むには		45
	●登録してある単語を編集するには		46
	●単語を新しく登録するには		47
	●登録した単語を削除するには		49
	編集する単語を探すには		49
4-3	2つの辞書ファイルを一本化するには	辞書マージ	50
4-4	辞書の違いをファイルにするには	辞書差分	52
4-5	さらに単語登録できるようにするには	辞書再編成	53
4-6	辞書ファイルに変換するには	データ変換	54
4-7	一時的に日本語入力環境を変えるには	環境再設定	55

付 録

1	キー操作一覧	58
2	ローマ字／かな対応表	60
3	コード表	61
	キャラクタコード表	61
	1/2角・1/4角文字コード表	62
	非漢字およびJIS第1水準、第2水準漢字コード表	63
	・非漢字全角文字コード表	64
	・JIS第1水準漢字コード表	65
	・JIS第2水準漢字コード表	70
索引		82

1

日本語フロントプロセッサとは



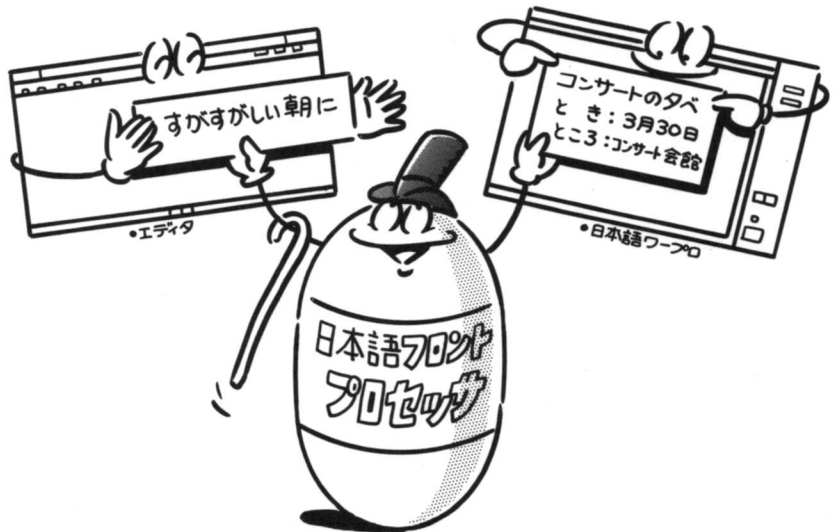
1-1

日本語を入力するには

日本語フロントプロセッサ

日本語フロントプロセッサとは

日本語フロントプロセッサとは、日本語ワードプロセッサの機能のうち、かな漢字変換などの入力機能だけを独立させたものです。このため、日本語ワードプロセッサはもちろん、SX-WINDOWのデスクトップ画面やHuman68kのコマンドモード、本機で動作するすべてのプログラムやアプリケーションと組み合わせて使うことができます。しかも、すべて同じ操作で入力できるので、アプリケーションの違いを意識せずに日本語を入力することができます。



日本語フロントプロセッサを使うには

日本語フロントプロセッサの使い方

日本語は、かな漢字変換を受け持つ日本語フロントプロセッサと辞書がセットになってはじめて入力できるようになります。

この日本語フロントプロセッサ（ASK68K ver.3.0）は、SX-WINDOWシステムディスクとHuman68kシステムディスクに、辞書は辞書ディスクに入っています。

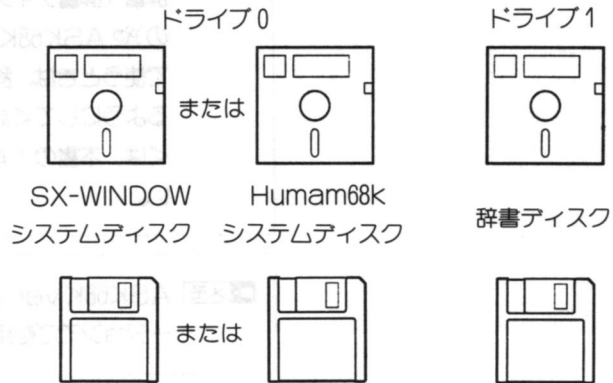
実際の操作では、それぞれのフロッピーディスクのバックアップコピーを使うようにしてください。ハードディスクにシステムディスクと辞書ディスクの内容を転送しているときは、バックアップコピーは必要ありません。

本書では、フロッピーディスクからシステムを起動することを前提に説明します（ハードディスクからシステムを起動しているときは、内容が異なることがあります）。

フロッピーディスクのバックアップ

☐参照

「SX-WINDOW ユーザーズマニュアル」の「3-3 バックアップコピーとは」



日本語フロントプロセッサの起動方法

本機では、日本語フロントプロセッサと日本語辞書を、起動時に自動的に使えるように設定されています。本機を起動したあと、日本語フロントプロセッサを起動する操作だけで、かな漢字変換ができるようになります。

「シャーペン」ウィンドウ

『日本語マルチフォントエディタユーザズマニュアル』

外字エディタ

『SX-WINDOW ユーザズマニュアル』の「4-13 外字エディタ」

USKCGM

『Human68k ユーザズマニュアル』

後述の「辞書学習機能」を学習モードに設定するときは、使用する辞書ディスクのライトプロテクトを解除し、辞書に書き込めるようにしてください。

また、日本語が入力できるのは、日本語マルチフォントエディタの「シャーペン」ウィンドウなどを開いて文字入力ができるようになってからです。

メモ 辞書の保守・外字の登録

辞書の内容や登録単語を整理するには、日本語辞書の保守をする辞書ユーティリティを使います。詳しくは、本書の「4 辞書ユーティリティ」をご覧ください。

デザイン文字など、新しく文字を外字として登録するには、「外字エディタ」や、「USKCGM(外字保守ユーティリティ)」を使います。

メモ 従来の辞書を使うとき

従来の日本語フロントプロセッサ ASK68K ver.1.0の辞書(辞書ディスクのラベルにバージョン表示がないもの)や ASK68K ver.2.0の辞書を ASK68K ver.3.0で使うときは、辞書ユーティリティのデータ変換で使えるようにしてください。変換効率がよくなります。詳しくは、本書の「4 辞書ユーティリティ」をご覧ください。

メモ ASK68K ver.3.0は、Human68k ver.2.0以上のバージョンでご使用ください。

メモ 郵便番号による地名変換

従来の日本語フロントプロセッサ ASK68K で、郵便番号による地名変換をお使いの方は、ASK68K ver.3.0でも郵便番号による地名変換ができます。

郵便番号変換をするときは、次のようにします。

1 辞書ユーティリティの「辞書マージ」で、X68K.DICとPOST.DICを一本化します。

X68K.DICに郵便番号辞書が追加された新しい辞書ができます。

2 このあと CONFIG.SYS を修正し、郵便番号辞書の入った新しい辞書を使えるようにします。

一本化した辞書を登録すると、3桁の郵便番号を入力して「スペース」を数回押すと、その番号に対応した都道府県名や市町村名に変換することができます。

詳しくは、本書の「4 辞書ユーティリティ」をご覧ください。

また、郵便番号による地名変換をするときのみ、辞書を変更するときは「F8」を押し辞書ファイル名をPOST.DICに変更し「Enter」を押してください。

郵便番号による地名変換が終了したら、再度「F8」を押し、辞書ファイル名を元の辞書ファイル名に戻して「Enter」を押してください。

詳しくは本書の「3-3 辞書を変更するには」をご覧ください。

2-1

日本語入力の流れ

ガイドラインの表示

☐参照

「3 自分流の日本語
入力にしてみよう」

日本語を入力する流れは、次のとおりです。

- 1** **[CTRL]+[XF1]**を押して、日本語フロントプロセッサを起動します。画面の最下行に次のような「ガイドライン」が表示されます。

■	あR 先読
---	-------

- 2** キーボードからひらがなを入力します。

あたらしいじだい■	あR 先読
-----------	-------

- 3** 漢字などに変換します。

新しい時代	あR 先読
-------	-------

- 4** 文字を確定します。

- 5** **[CTRL]+[XF1]**を押し、日本語入力を終わります。

☐メモ カーソル位置での変換(エコーモード)※コマンドモード時のみ可能

SX-WINDOWなどでは、文字の入力と変換を画面最下行のガイドラインで行いますが(システムラインモード)、コマンドモードでは、このシステムラインモードのほかカーソル位置でも文字の入力や変換を行うことができます(エコーモード)。

システムラインモードとエコーモードは、**[F6]**を押すことにより、交互に切り替えることができます。エコーモードのときに、ガイドラインのカーソルが表示されなくなることで、両モードを区別することができます。

2-2

ひらがな・カタカナ・英数字を入力するには

ローマ字綴りでひらがなを
入力するには

ローマ字入力

ひらがな 全角 ローマ字 のランプが点灯しているときに、ローマ字綴りでひらがなを入力できます。



ローマ字入力では、次のようにひらがなを入力します。

例 「きれいなあおぞら」と入力します。

K I R E I N A A O Z O R A

きれいなあおぞら

詳しいローマ字の入力

☐ 参照

「付録2 ローマ字/かな対応表」

単独で「っ」を入力するとき

SHIFT+Z、
SHIFT+TU、
SHIFT+TSU
のいずれかを押します。

「っ」を入力するには

TT、KKなどと子音を2回続けます。

例 「ふっとう」と入力します。

HU T T O U

ふっとう

単独で「ん」を入力するとき

NN、X、のい
ずれかを押します。

「ん」を入力するには

次に子音が続くときはNを、母音(A、I、U、E、O)やNが続くときはNNを押します。

例 「あんない」と入力します。

A N N N A I

あんない

メモ 以降、特に断りのないかぎり、ローマ字入力モードで説明します。

かなでひらがなを入力するには | かな入力

かな 全角 ひらがな のランプが点灯しているときに、かな入力ができます。



かな入力では、次のようにひらがな入力します。

例 「きゆうなでんぼう」と入力します。

き SHIFT ゆう な て ん ほ う

きゆうなでんぼう

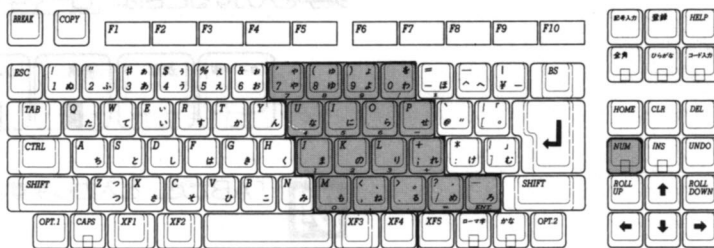
あ < 先読

ニューメリックキー



「取扱説明書」 「2-3
キーボードの使い方」

メモ テンキーのないキーボードを使い、かな入力での数字を入力するときは、**NUM** を押しニューメリックキーを使うと便利です。



ニューメリックキー

カタカナや英字への変換

■参照

「2-3・ひらがな/カタカナ/英字に変換するには」

カタカナや英字を入力するには

カタカナや英字を入力する方法は、次のとおりです。

- ・入力モードを変更したあと、カタカナや英字を入力する
- ・ローマ字入力でキー入力したあと、カタカナや英字に変換する

ここでは、入力モードを変更してからカタカナや英字を入力する方法を説明します。

カタカナを入力するには

カタカナを入力するときは、**ひらがな**のランプを消します。



半角のカタカナを入力するときは、**全角**のランプを消します。

英字を入力するには

英字を入力するときは、**ローマ字**、**かな**のランプを消します。



例 「ABがた」と入力します。

- 1 ローマ字入力、かな入力の状態で**ローマ字**または**かな**を押してランプを消し、**A****B**と押します。
 <ローマ字、かなのランプが両方とも消えた状態>









AB■

2 □ローマ字または□かなを押してG A T T Aまたはカ
たと押します。

ABがた■

☑メモ 全角/半角、大文字/小文字の切り替え

- ・全角/半角の切り替え……………□全角
- ・大文字/小文字の切り替え……□CAPS

			
全角・大文字「ROMA」		半角・大文字「ROMA」	
			
全角・小文字「roma」		半角・小文字「roma」	

文字を修正するには

入力した文字を修正するときは、次のキーを使います。

キ ー	内 容
←	カーソルが1文字左へ移動します
→	カーソルが1文字右へ移動します
BS	カーソルの左の文字を削除します
DEL	カーソル位置の文字を削除します
HOME	カーソルが先頭文字に移動します
CLR	文字をすべて削除します

例 「じょう」を「じゅう」に修正します。

1 ←を4回押します。

じょうだん ■

2 J|U|Uと押します。


じゅうだん

3 DELを2回押します。

じゅうじゅうだん

じゅうだん


ひらがなのままで入力するには

ひらがなのままで入力(確定)するときは、 (またはXF5)を押します。

2-3

ひらがなを変換するには

変換するには


ひらがなで読みを入力したあとで「スペース」(または「XF 3」)を押します。1回で変換されないときは、「スペース」(または「XF 3」)で次の候補や、同音異義語の一覧表を表示します。漢字を選んだら「」(または「XF 5」)で確定します。

変換する流れ



例 「かえる」を変換します。

1 「K A E R U」と押します。

かえる■

2 「スペース」を押すと、第1候補が表示されます。これでよければ、「」(または「XF 5」)を押して確定してください。変換結果が通常画面内に移されます。

蛙

3 不満足なときは、もう一度「スペース」(「XF 3」、)、)を押します。
一覧表に候補がまとめて表示され、その中から選択するモードに変わります。このモードを「表示選択モード」と呼びます。

残 9 1. 蛙 2. **帰る** 3. 返る 4. 還る 5. 代える 6. 替える 7. 変える 8. 換える

蛙

一覧表から選択するには

表示選択モード

表示選択モードでは、いくつかの候補が番号付きで一覧表に表示されます。

一覧表から選択するときは、次のキーを使います。

キ ー	内 容
→、XF3、スペース	一つ右の候補を反転表示します
←、SHIFT+XF3	一つ左の候補を反転表示します
↓	次の一覧表を表示します
↑	前の一覧表を表示します
1~9	直接その番号の候補を選択します
☑	反転表示の候補を選択します
XF5	反転表示の候補を選択し確定します
ESC、BS	ひらがなに戻ります

例 前頁 3 の状態から「飼える」と変換します。

残 9 1. 蛙 2. 帰る 3. 返る 4. 還る 5. 代える 6. 替える 7. 変える 8. 換える

蛙

1 この一覧表には「飼える」がないので、↓を押して次の一覧表を表示します。


残 2 1. 買える 2. 飼える 3. かえる

蛙

2 →、XF3、スペース、のいずれかのキーを押して、「飼える」を反転させます。

残 1 1. 買える 2. 飼える 3. かえる

蛙

3  (または **X**F5) を押して、選択します。

2 で数字キーの **2** を押して直接選択する方法もあります。

飼える

メモ 一覧表の左側にある「残〇〇」は、その読みの候補数が、反転している候補を除いて残りいくつあるかを示しています。

目的の漢字にならないときは

ひらがなをまちがえたときには

まちがったひらがなで変換したときは、**[ESC]** (または**[BS]**) を押し一度ひらがなに戻してから、入力しなおします。

キー	内 容
[ESC] 、 [BS]	変換中の文節をすべてひらがなに戻します
[CLR]	ひらがなをすべて削除します

例 「進化線で通勤する」を「新幹線で通勤する」になおします。

進化線で通勤する

1 **[ESC]**を押します。

しんかせんでつうきんする■

2 **[←]**を9回押して、カーソルを移動させます。

しんか**■**せんでつうきんする

3 **[N]** **[N]**(または、**[X]**)と押します。

しんか**■**せんでつうきんする

4 **[XF3]** (または**[スペース]**)を押して、変換します。

新幹線**■**で通勤する

メモ ひらがなの修正が難しいときなどは、**[CLR]**で文字を消して、はじめから入力しなおしてください。

文節の区切りを変えるには

文節の区切りを変えるときは、次のキーを使います。

キ ー	内 容
[XF1]	前の文節を反転表示の文節にします
[XF2]	次の文節を反転表示の文節にします
[SHIFT] + [XF1]	文節の長さを一文字短くします
[SHIFT] + [XF2]	文節の長さを一文字長くします

例 「庭には二羽の鳥がいた」と入力するとき、**1**のように表示されたときの修正。

にわにはにわのとりがいた■

1 [XF3] (または [スペース]) を押して、変換します。

庭に 埴輪の取りがいた

2 [SHIFT] + [XF2] を1回押して、文節の長さを一文字長くします。

にわにはにわのとりがいた

3 [XF3] (または [スペース]) を押して、変換します。

庭には 庭の取りがいた

4 [XF2] を押して、次の文節(「庭の」)を反転表示させます。

庭には 庭の 取りがいた

2

日本語を入力してみよう

5 **[XF 3]** (または **[スペース]**) を押して「二羽の」があるかどうかを確認します。「二羽の」が候補にありません。

残 3 1.庭の 2. **丹波の** 3.丹波の 4.庭野 5.にわの

庭には**庭の**取りがいた

6 **[SHIFT] + [XF 1]** を2回押して、文節を短くし「に」を反転させます。

庭には**に**わのとりがいた

7 **[XF 3]** (または **[スペース]**) を押して、変換し **[]** (または **[XF 5]**) を押します。

庭には **[]** 羽の鳥がいた

ひらがな/カタカナ/英字に変換するには

いったん[スペース]などで変換したあとの未確定文節(反転表示)を、ひらがな/カタカナ/英字にするには、次の方法があります。

キー	内 容
CTRL + XF 2	反転表示の文節を、ひらがなにします
CTRL + XF 3	反転表示の文節を、カタカナにします
CTRL + XF 4	反転表示の文節を、半角にします ひらがなは半角カタカナにします
CTRL + XF 5	反転表示の文節を、英字にします (*かな入力時は英字になりません)

例 「USAの友人」と入力します。

うさのゆうじん

1 [スペース]を押して、変換します。

憂さの友人

2 [SHIFT] + [XF 1]を1回押して、文節を短くし「憂さの」を「うさ」にします。

うさのゆうじん

3 [CTRL] + [XF 5]を押して、英字に変換します。

USAの友人

4 [CTRL] + [XF 4]を押して、半角にします。

USAの友人

2 ↓ を2回押します。

[2140] ■ ~ || | ‘ ’ “ ” () (

■ JIS

3 → を2回押します。「||」を反転表示させたあと、☐を押して入力します。

コード番号入力の種類

コード番号入力には、次の3つの方法があり、[F7]を押して切り替えます。

JISコード入力

[2121] ■ 、 。 ， . . : ; ? ! ” ° ` ^ ~

■ JIS

[F7]

シフト JISコード入力

[8140] ■ 、 。 ， . . : ; ? ! ” ° ` ^ ~

■ SJIS

[F7]

区点コード入力

[0101] ■ 、 。 ， . . : ; ? ! ” ° ` ^ ~

■ 区点

[F7]

メモ 記号や外字をコード入力するときの先頭のコード番号は、次のようになります。

	記号の先頭コード	外字の先頭コード
JISコード	2 1 2 1	7 6 2 1
シフトJISコード	8 1 4 0	EB9F
区点コード	0 1 0 1	8 6 0 1

メモ 記号には、文字で簡単に入力できるものがあります。

ひらがな	記号	ひらがな	記号
まる	○ ● ◎	ほし	☆ ★
さんかく	△ ▲ ▽ ▼	やじるし	→ ← ↑ ↓
しかく	□ ■		

漢数字を入力するには

数字を入力して[スペース]を押すと、漢数字に変換することができます。

変換できる数字は13ケタまでです。

例 「9876543210」と入力します。

9876543210■

1 [XF3] (または[スペース])を3回押します。

残 1 1. 九十八億七千六百五十四万三千二百十

9876543210

2 [Enter] (または[XF5])を押して確定します。



2-5

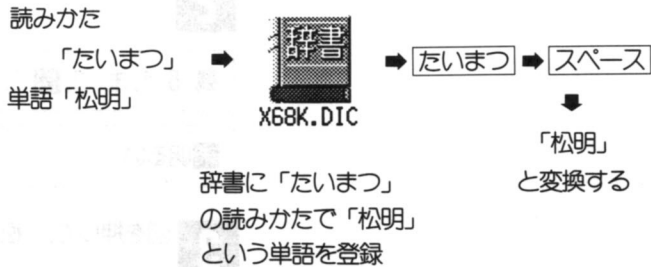
難しい単語を変換できるようにするには

単語登録

辞書ディスクのライトプロテクト

辞書ディスクの書き込みが禁止されていると、単語登録ができません。単語登録をするときは、あらかじめ辞書ディスクのライトプロテクトを解除してください。

変換しにくい名前や地名などを、読みかたと単語をセットにして辞書に登録すると、普通の漢字変換と同じように変換できます。



単語を登録するには

単語を登録するには、次の方法があります。

- ・日本語入力中に登録する
- ・辞書ユーティリティを使ってまとめて登録する

ここでは、日本語入力中に単語を登録する方法を説明します。

日本語入力中に単語を登録するには、次のキーを使います。

登録	登録する単語の変換中に押すと、単語を登録できるようになります
ESC	単語登録を中止し変換中の操作に戻ります

辞書ユーティリティ



「4 辞書ユーティリティ」

例

「松明」を「たいまつ」で登録します。

「松明」と漢字変換するため、「まつあかるい」と入力します。

まつあかるい

1 XF3 (または [スペース]) を押して、変換します。

未明るい

2 XF3 (または [スペース]) を押して、「松」を探します。

残 5 1. 未 2. **松** 3. マツ 4. 待つ 5. 抹 6. 沫 7. まつ

未明るい

3 を押して、「松」を選びます。

松明るい

4 登録する単語「松明」が正しく変換されたことを確認し、変換中の状態のまま を押します。

単語=松明るい

松明るい

5 を2回押して、「るい」を削除します。

単語=松明

松明るい

6 登録する単語が表示されたことを確認し、 を押します。

読みを入力してください。

松明るい

カタカナ・英字の登録

読みを入力したあと、

+ XF3、

+ XF5 で

カタカナ・英字に変換

し、反転している状態

で を押します。

品詞情報の指定

↓ ↑ で次の品詞、←
→ で前の品詞を選び
ます。

登録した単語の 編集

参照

「4 辞書ユーティリティ」

7 登録する読み「たいまつ」を入力します。

読み=たいまつ

松明るい

8 [Enter]を押します。

品詞情報=名詞

松明るい

9 単語の品詞情報を指定します。ここでは、「名詞」のま
までよいので、[Enter]を押します。

まつあかるい

これで登録が終わりました。

このあと、[CLR]を押し、「たいまつ」を入力し[スペース]を押
すと、「松明」と変換できます。

登録する単語の品詞は、次の 34 種類から選びます。

品詞の指定
 動詞、形容詞、形容動詞を入力するときは、語幹のみを入力します。

品詞	語幹	活用
動詞	行	く
形容詞	美し	い
形容動詞	静か	だ

名詞	名詞	2階建て住宅、など
	サ変複合名詞	愛(-する)、惨敗(-する)、など
	サ変複合名詞	命(-ずる)、など
	形容動詞複合名詞	純粹(-な)、など
	人名(姓)	野毛、北小路、など
	人名(名)	教子、陽水、など
	地名	雑司が谷、千駄ヶ谷、など
	団体名	レイク相模協会、など
	物の名称	法隆寺、など
	その他の名詞	象牙、など
動詞	動詞カ行五段	聞-く、咲-く、など
	動詞ガ行五段	泳-ぐ、騒-ぐ、など
	動詞サ行五段	話-す、離-す、など
	動詞タ行五段	勝-つ、立-つ、など
	動詞ナ行五段	死-ぬ、など
	動詞/ヰ行五段	飛-ぶ、転-ぶ、など
	動詞マ行五段	読-む、囲-む、など
	動詞ラ行五段	着-る、切-る、など
	動詞ワ行五段	使-う、遣-う、など
	動詞サ行変格	為-す、す-る、など
	動詞ザ行変格	高-ずる、甘ん-ずる、など
	動詞カ行変格	来-る、など
	動詞上下一段	見-る(語尾が50音のイ列：上一段) 教え-る(語尾が50音のエ列：下一段)、 など
その他	形容詞	新し-い、良-い、など (ク活用とシク活用は区別しない)
	形容動詞	静か-だ、おだやか-だ、など
	数字・数表現	Ⅳ、壹、四本、八番目、など
	感動詞	ああ、おお、など
	接続詞	ところで、など
	副詞	たいへん、ほんとうに、など
	連体詞	あの、その、この、など
	慣用句	ただ今、など
	単漢字	俎、瀆、胤、など
	接頭語	お…、ご…、など
接尾語	…個、…様、など	

独自の日本語入力システムの開発

3

自分流の日本語入力にしてみよう

独自の日本語入力システム

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システム

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

独自の日本語入力システムを、独自の日本語入力システムで開発する。

3-1

辞書の学習機能を切り替えるには 学習機能

学習機能

1つのよみに同音異義語が複数あるとき、最後に選択された候補が先頭（表示選択モードの候補番号1）になるように、辞書に学習させる機能。また、文節の区切りを変更した情報も学習します。電源を切っても学習情報が辞書ディスクに残ります。辞書ディスクのライトプロテクトを解除して、書き込みができるようにしてください。

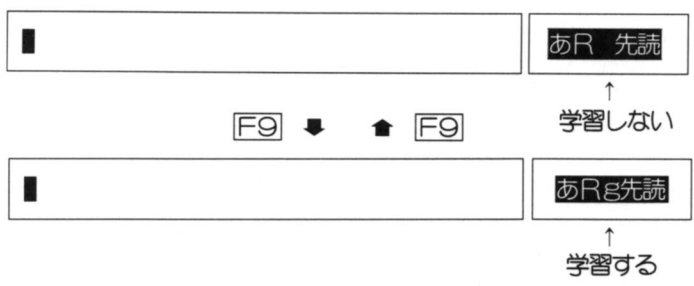
[F9]を押すと、辞書への学習機能をする/しないを切り替えることができます。
次のようなときに、学習機能を切り替えてお使いください。

●自分専用の辞書として使うとき
学習する …… 一度学習した結果が、電源を切ったあとも残ります。
あR 先読 …… 使い込むほどに、変換効率が上がります。

●ほかの人の辞書を借りて使うときなど
学習しない …… 学習しないので、持ち主の学習結果は前のまま使えます。
あR 先読 …… えます。

学習機能の切り替え

次のようにして、学習機能を切り替えます。



日本語フロントプロセッサの起動時に、どちらの学習モードにするかを環境ファイルに設定することができます。

環境ファイル
 参照
 「3-4 自分流に日本語を入力できるようにするには」

3-2

変換の方法を変えるには

先読み一括変換／一括変換／逐次自動変換

[F10] を押すと、変換方法を「先読み一括変換モード」、「一括変換モード」、「逐次自動変換モード」に切り替えることができます。

先読み一括変換モード

せいきのしゅんかんをすくーぶ

あR 先読

↓ [スペース]

世紀の瞬間をスクープ

あR 先読

先読み一括変換の表示

先読み一括変換モード

[スペース] を押すと変換します。文字を入力すると、次々と辞書から変換候補を読み込むので、一括変換モードより速く変換できます。

特長

- ・短い文節で変換できるので、変換のまちがいが少なくなり、しかも変換スピードが速いため、スピーディに入力できます
- ・文節の切れ目を意識しながら [スペース] を押す必要があります

一括変換モード

[スペース] を押したときにはじめて辞書から変換候補を読み込み変換します。先読み一括変換モードより若干変換スピードが落ちます。

一括変換モード

せいきのしゅんかんをすくーぶ

あR 一括

↓ [スペース]

世紀の瞬間をスクープ

あR 一括

一括変換の表示

特長

- ・短い文節で変換できるので、変換まちがいが少なくなります
- ・文節の切れ目を意識しながら [スペース] を押す必要があります

逐次自動変換モード

「スペース」を押さなくても入力とともに自動的に変換します。

逐次自動変換モード

世紀のしゅんかんをすくーぶ

あR 逐次

逐次自動変換の表示

特長

- ・「スペース」を押す手間がはぶけ、入力に専念できます
- ・同音異義語がうまく変換されなかつたり、文節の区切りがうまくいかないことがあります

まちがって変換した漢字を修正するには、次のようにします。

キー	内 容
←, →	読みに戻し、修正する文字にカーソルを移動します
BS	カーソルの左の文字を削除します
DEL	カーソル位置の文字を削除します
HOME	読みに戻し、カーソルを先頭文字に移動します
CLR	文字をすべて削除します
スペース またはXF3	修正した読みで変換します
CTRL+J	修正した読みを変換したあと、先頭から反転した文節までを確定します

逐次自動変換では、一度に39回以上キーを押すことができません。

日本語フロントプロセッサの起動時に、どの変換モードにするかを環境ファイルに設定することができます。

環境ファイル



「3-4 自分流に日本語を入力できるようにするには」

3-3

辞書を変更するには

辞書の変更

辞書ファイル



X68K.DIC



POST.DIC

ディスクの容量と日本語辞書の大きさとの兼ね合いなどで辞書を変更するときは、次のようにしてください。

- 1 **[F8]**を押すと、ガイドラインに現在使用している辞書名が表示されます。

辞書ファイル名=B:¥X68K.DIC

- 2 このままでよければ、**[ESC]**を押して辞書変更モードを抜けます。

変更するときは、変更先のドライブ番号と辞書ファイル名を入力してください。

辞書ファイル名=A:¥X68K.DIC

- 3 これでよければ、**[F8]**を押して設定します。ガイドラインは通常の状態に戻り、以降指定したドライブの日本語辞書を使って変換します。

変更した辞書は、リセットするか電源を切るまで変わりません。もう一度起動すると、元の辞書に戻ります。

CONFIG.SYSの内容を変更すると、日本語フロントプロセッサの起動時に、指定した辞書を使用できるようになります。

DEVICE=¥SYS¥ASK68K.SYS /DB:¥X68K.DIC /E¥ASK¥ENV1.ASK

注意 辞書メンテで編集中の辞書に変更すると、ガイドラインで登録した単語が無効になるなどの不都合が生じる場合があります。辞書メンテで編集中の辞書には、変更しないでください。

3-4

自分流に日本語を入力できるようにするには
環境ファイルの変更

自分流の日本語入力とは

入力方法などを、自分の使い慣れたやり方に変更することができます。変更できるのは、次のようなものです。

- ・日本語の入力で使うキーのはたらき

例：日本語入力を始めるキーを変更する

CTRL + **XF1** → **CTRL** + **XF3**

- ・日本語の入力モード

例：ひらがなの入力方法を変更する

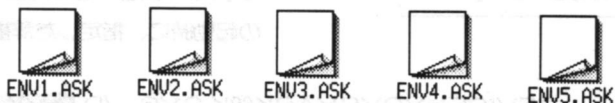
ローマ字入力 → かな入力

入力の方法などを変更するには、日本語入力を制御している「環境ファイル」の情報を書き換えます。

環境ファイルとは

日本語入力のために使うキーの役割や、日本語入力の各モードを設定しているのが「環境ファイル」です。環境ファイルは、SX-WINDOWシステムディスク内のASKディレクトリに5つ入っています。

標準(お買い上げ時)では、ENV1.ASKが指定(CONFIG.SYSファイルに登録)されています。



CONFIG.SYSの内容

DEVICE=¥SYS¥ASK68K.SYS /DB:¥X68K.DIC /E¥ASK¥ENV1.ASK

↑
環境ファイル

参照

『SX-WINDOW 日本語マルチフォントエディタ ユーザーズマニュアル』

機能の表記

参照

BEGIN、END などの表記は、「キー変更可能な機能一覧とその表記法」

環境ファイルを作るには

環境ファイルは標準のテキストファイルです。日本語マルチフォントエディタで次の形式にしたがって、1行ずつ入力していきます。

日本語フロントプロセッサの機能=割り付けキー

たとえば

(かな漢字変換を開始するキーを、**CTRL**+**スペース**に割り付ける)
 (かな漢字変換を終了するキーを、**CTRL**+**スペース**に割り付ける)
 という設定をするときは、環境ファイルの内容は次のようになります。

BEGIN=CTRL+SP

END=CTRL+SP

特に指定しない機能は、初期設定のままとなります。指定した機能の割り付けられたキーだけが、変わることになります。

メモ 環境ファイルでキー割り付けを指定しなかった機能は、「キー変更可能な機能一覧とその表記法」の初期値のままです。

環境ファイルを変更するには

環境ファイルを変更するには、次のような方法があります。

- ・常時変更した環境ファイルを使う … CONFIG.SYS の変更
- ・一時的に変更した環境ファイルを使う … 辞書ユーティリティの環境再設定

ここでは、CONFIG.SYS を変更して常時変更した環境ファイルを使う方法を説明します。

3-4 自分流に日本語を入力できるようにするには

環境再設定

☑参照

「4-7 一時的に日本語
入力環境を変えるには」

日本語マルチフォントエディタで環境ファイルを作る

↓

日本語マルチフォントエディタで CONFIG.SYS の環境ファイルの指定を修正する(修正した環境ファイルを「ENV6.ASK」という名で保存する)

↓

本体をリセットする

変更した環境ファイルの内容は、リセットし再起動したあとで使えるようになります。

CONFIG.SYSを書き換えるには、次のようにします。

```
DEVICE=¥SYS¥ASK68K.SYS /DB:¥X68K.DIC /E¥ASK¥ENV6.ASK
```

☑参照

「Human68k ユー
ザーズマニュアル」7
-2 CONFIG.SYS
ファイルのコマンド」

↑
新しい環境ファイル名に書き換える

環境ファイル (ENV1.ASK) の初期設定

●キー変更可能な機能一覧とその表記法

機能	表記法	初期値
日本語入力の開始	BEGIN	BEGIN =CTRL+XF 1
日本語入力の終了	END	END =CTRL+XF 1
変換の開始 1	XFER	XFER =XF 3
変換の開始 2	XFER 2	XFER =SP
全文節の確定	ENTER	ENTER =XF 5
一文字の削除	DEL	DEL =DEL
カーソルの右への移動	RIGHT	RIGHT =RIGHT
カーソルの左への移動	LEFT	LEFT =LEFT
カーソルの左端への移動	HOME	HOME =HOME
一行の削除	CLR	CLR =CLR
機能のキャンセル	ESC	ESC =ESC
全角ひらがなへの変換	HIRAGANA	HIRAGANA =CTRL+XF 2
全角カタカナへの変換	KATAKANA	KATAKANA =CTRL+XF 3
半角への変換	HANKAKU	HANKAKU =CTRL+XF 4
全角への変換	ZENKAKU	ZENKAKU =CTRL+XF 5
先頭文節の変換	TOPENTER	TOPENTER =CTRL+J
エコー/システムライン モードの切り替え	ECHO	ECHO =F 6
JIS/シフト JIS/区点コード の切り替え	CODE	CODE =F 7
辞書の変更	DIC	DIC =F 8
学習モードの変更	LEARN	LEARN =F 9
先読み一括変換/一括変換/ 逐次自動変換の切り替え	TYPE	TYPE =F 10
同音異義語の次候補選択 1	NEXTKOUHO 1	NEXTKOUHO 1 =RIGHT
同音異義語の次候補選択 2	NEXTKOUHO 2	NEXTKOUHO 2 =XF 3
同音異義語の次候補選択 3	NEXTKOUHO 3	NEXTKOUHO 3 =SP
同音異義語の前候補選択 1	BACKKOUHO 1	BACKKOUHO 1 =LEFT
同音異義語の前候補選択 2	BACKKOUHO 2	BACKKOUHO 2 =SHIFT+XF 3
同音異義語の前候補選択 3	BACKKOUHO 3	BACKKOUHO 3 =NULL
次候補群の表示	NEXTBLOCK	NEXTBLOCK =DOWN
前候補群の表示	BACKBLOCK	BACKBLOCK =UP
文節の短縮	SHORTER	SHORTER =SHIFT+XF 1
文節の伸長	LONGER	LONGER =SHIFT+XF 2
次文節へ	NEXTBUN	NEXTBUN =XF 2
前文節へ	BACKBUN	BACKBUN =XF 1

変更できるキーとその表記法は、次ページ「割り付け可能なキー一覧とその表記法」をご覧ください。

入力モードの設定

右表のように、入力モードは「0」～「2」で設定します。

●入力モードの初期設定とその表記法

機能	表記法	初期値(ENV1, ASKの設定)
エコモード/ システムラインモード	DEFECHO=1(エコ) DEFECHO=0(システムライン)	DEFECHO=0 (システムライン)
ローマ字入力/かな入力	DEFROME=1(ローマ字) DEFROME=0(かな)	DEFROME=1 (ローマ字)
全角入力/半角入力	DEFZEN=1(全角) DEFZEN=0(半角)	DEFZEN=1 (全角)
ひらがな入力/カタカナ入力	DEFHIRA=1(ひらがな) DEFHIRA=0(カタカナ)	DEFHIRA=1 (ひらがな)
学習する/しない	DEFMEM=1(学習しない) DEFMEM=0(学習する)	DEFMEM=1 (学習しない)
先読み一括変換/ 一括変換/逐次自動変換	DEFALL=2(先読み一括変換) DEFALL=1(一括変換) DEFALL=0(逐次自動変換)	DEFALL=2 (先読み一括変換)
大文字/小文字	DEFCAPS=1(大文字) DEFCAPS=0(小文字)	DEFCAPS=1 (大文字)
[OPT.1]+アルファベット キーの入力の機能 設定機能の実行(アプリ ケーションで)/アルファベ ットの入力	DEFOPT 1=1(設定機能の実行) DEFOPT 1=0(アルファベット入力)	DEFOPT 1=1 (設定機能の実行)

環境ファイルのキーの表記法

●割り付け可能なキー一覧とその表記法

割り付け可能キー	環境ファイル上での表記法
スペースキー	SP
ホームキー	HOME
デリートキー	DEL
ロールアップキー	ROLLUP
ロールダウンキー	ROLLDOWN
左矢印キー (←)	LEFT
右矢印キー (→)	RIGHT
上矢印キー (↑)	UP
下矢印キー (↓)	DOWN
クリアキー	CLR
XFキー	XF1~XF5
ファンクションキー	F1~F10
シフト+XFキー	SHIFT+XF1~SHIFT+XF5
シフト+ファンクションキー	SHIFT+F1~SHIFT+F10
コントロール+ファンクションキー	CTRL+F1~CTRL+F10
コントロール+アルファベットキー	CTRL+A~CTRL+Z(*1)
割り付けない	NULL

(*1)CTRL+Mを除く

**BS、TABへの
割り付け**

[BS]に割り付けたいときは「CTRL+H」と、[TAB]に割り付けたいときは「CTRL+I」と記述してください。

割り付け上の注意

日本語マルチフォントエディタなどで割り付けられている

[CTRL]+[S]などを日本語フロントプロセッサでも割り付けると、正しく動かないことがあります。

●割り付け不可能なキー一覧

次のキーには、割り付けることができません。

- BREAK、COPY、OPT.1、OPT.2
- ☑、CAPS、かな、ローマ字
- 記号入力、登録、HELP、コード入力
- 全角、ひらがな
- INS、UNDO、ENTER

エラーメッセージ

環境ファイルの内容に誤りがあるときは、システム起動時（コマンドモードのみ）に次のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	回復方法
環境ファイルXXXXX がオープンできません	CONFIG.SYSで指定したファイル名 が誤っているか、環境ファイルがありま せん。もう一度ファイル名を確かめて、 入力しなおしてください。
環境ファイルXXXXX の以下の部分に誤りが あります AAAA=BBBB	割り付けたキーの表記に誤りがあります。 正しいキーの表記に書きなおしてくださ い。
AAAAとaaaaに同 じキーを割り付けるこ とはできません	複数の機能に同じキーが割り付けられて います。別のキーに割り付けなおしてく ださい。

- ☑メモ ・1つの機能に重複してキーを割り付けたときは、最後に
設定したキーが有効となります。
- ・環境ファイルに誤りがあったときは、キーの割り付け
は初期値のまま、変更されません。

3

自分流の日本語入力にしてみよう

第 3 章 日本語能力試験の過去問

日本語能力試験の過去問を解くには、まず問題文をよく読むことが大切です。問題文には、試験の目的や、出題の意図が反映されています。また、問題文には、日本語の文法や語彙の知識が問われることがあります。したがって、問題文をよく読むことは、試験に合格するための重要なステップです。

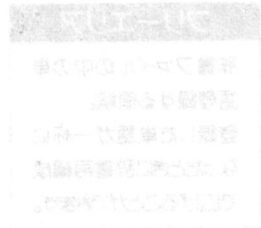
日本語能力試験の過去問を解くには、まず問題文をよく読むことが大切です。問題文には、試験の目的や、出題の意図が反映されています。また、問題文には、日本語の文法や語彙の知識が問われることがあります。したがって、問題文をよく読むことは、試験に合格するための重要なステップです。

日本語能力試験の過去問を解くには、まず問題文をよく読むことが大切です。問題文には、試験の目的や、出題の意図が反映されています。また、問題文には、日本語の文法や語彙の知識が問われることがあります。したがって、問題文をよく読むことは、試験に合格するための重要なステップです。

日本語能力試験の過去問を解くには、まず問題文をよく読むことが大切です。問題文には、試験の目的や、出題の意図が反映されています。また、問題文には、日本語の文法や語彙の知識が問われることがあります。したがって、問題文をよく読むことは、試験に合格するための重要なステップです。

4

辞書ユーティリティ



4-1

辞書ユーティリティとは

辞書ファイル

辞書ディスクに入っている X68K.DIC。あらかじめ入っている単語のほかに、登録した単語も追加されています。

日本語入力中の
単語登録

☐参照

「2-5 難しい単語を変換できるようにするには」

フリーエリア

辞書ファイルの中の単語登録する領域。登録した単語が一杯になったときに辞書再編成で広げることができます。

辞書ユーティリティを使うと

辞書ユーティリティには、次の機能があります。

- ・辞書編集……辞書ファイルの編集(単語の登録・編集・削除)ができます。
- ・辞書マージ……2つの辞書ファイルを一本化した新しい辞書ファイルを作ります。
- ・辞書差分……2つの辞書ファイルを比較し、登録した単語の違いをテキストファイルにします。
- ・辞書再編成……辞書ファイルのフリーエリアを広げ、さらに単語登録できるようにします。
- ・データ変換……辞書ファイルをテキストファイルに、テキストファイルを辞書ファイルに、ASK68K ver.2.0の辞書ファイルを、ASK68K ver.3.0の辞書ファイルに変換します。
- ・環境再設定……日本語入力の環境を切り替えます。但し、「リセット」すると元に戻ります。

☐メモ 辞書ユーティリティを使う前に、辞書ファイルをバックアップしてください。操作中まちがって辞書ファイルが壊れても安心です。

☐メモ 本書では、ハードディスクを接続していないX68030を例に説明しています。SX-WINDOWのシステムや辞書ディスクの内容をハードディスクに転送していると、本書の画面例のドライブ名などが異なります。以降の画面例では、次のように読み替えてください。

B:¥X68K.DIC → A:¥X68K.DIC

4-2

辞書を編集するには

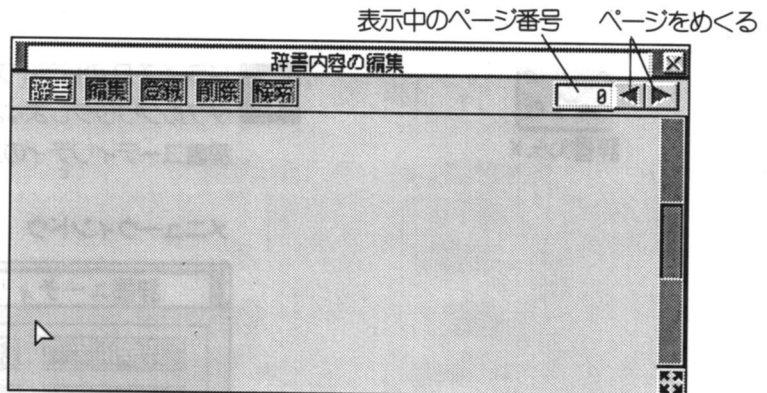
辞書編集

4

辞書ユーティリティ

単語を登録・編集するには

辞書ファイルを編集するときは、メニューウィンドウで「辞書編集」を左クリックします。すると次のようなウィンドウが表示されます。



次のような編集ができます。

- ・ **辞書** …… 編集する辞書ファイルを指定する
- ・ **編集** …… 登録した単語の読みなどを編集する
- ・ **登録** …… 単語を登録する
- ・ **削除** …… 登録した単語を削除する
- ・ **検索** …… 単語を検索・確認する

辞書ファイルを読み込むには

使用する辞書ファイルの設定

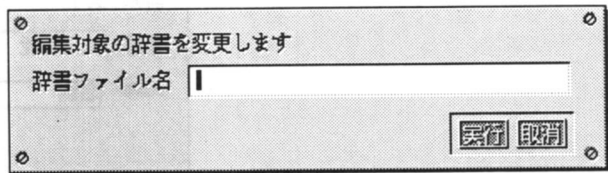
CONFIG.SYS で設定されています。

☐参照

「3-3 辞書を変更するには」

現在使用されている辞書ファイルは、編集することができません。辞書を編集するときは辞書ファイルをコピーし、CONFIG.SYS に登録されている辞書とは別ファイルにしてから、次のようにします。

1 「辞書内容の編集」ウィンドウで、**辞書** を左クリックします。



2 CONFIG.SYS に登録されていない辞書ファイルのアイコンを表示されたダイアログにドロップし、**実行** を左クリックします。

編集する辞書ファイルの内容が表示されます。

☐メモ 辞書ファイルの指定

次のようにして辞書ファイルを指定することもできます。

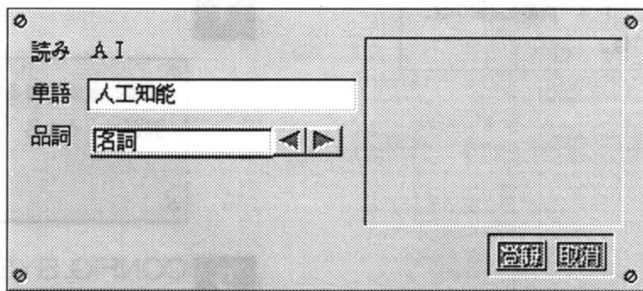
- ・辞書ファイルのアイコンを、「辞書内容の編集」ウィンドウにドロップする

登録してある単語を編集するには

登録してある単語やその読みを編集するときは、次のようにします。

編集する単語の検索
参照
 「4-2 ●編集する単語を探すには」

- 1 「辞書内容の編集」ウィンドウで、編集する単語を左クリックして選択し、**編集**を左クリックします。
 編集する単語の内容がダイアログに表示されます。



品詞の選択
 「品詞」の◀▶ボタンを左クリックするか、◀▶ボタンの上で右クリックして表示されるポップアップメニューから目的の品詞を選択します。

- 2 必要に応じて読み・単語・品詞を編集します。
- 3 **登録**を左クリックして、編集を終わります。

単語の編集
 読み・単語とも編集できる文字は、全角39文字までです。
 読みはひらがな・英字のみ使えます。
 動詞、形容詞、形容動詞を編集するときは、語幹のみとします。

メモ 動詞・形容詞・形容動詞などの活用は、目的の品詞を選択して、活用例を表示して確認します。

品詞	語幹	活用
動詞	行	<
形容詞	美し	い
形容動詞	静か	だ

単語を新しく登録するには

日本語入力中の 単語登録

参照

「2-5 難しい単語を交換できるようにするには」

登録中の単語を編集して新しく登録する

1で参考にする単語を選択し「登録」を左クリックします。表示された内容を編集し、「登録」を左クリックします。

読みと単語の入力

読みは全角のひらがなと英字のみを39文字以内で入力します。また、動詞、形容詞、形容動詞を入力するときは、語幹のみとします。

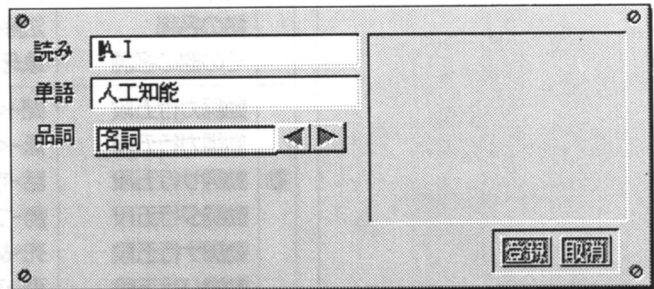
品詞	語幹	活用
動詞	行	く
形容詞	美し	い
形容動詞	静か	だ

品詞の選択

「品詞」の◀▶ボタンを左クリックするか、▶ボタンの上で右プレスして表示されるポップアップメニューから目的の品詞を選択します。

辞書ファイルに単語を登録するときは、次のようにします。複数の単語をまとめて登録するときは、辞書ユーティリティを使った方が速く登録できます。

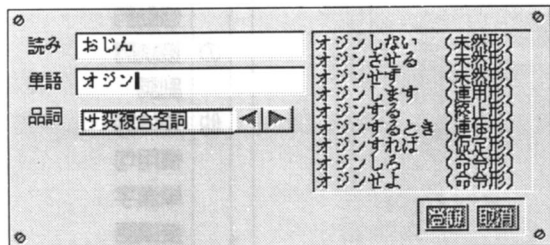
1 「辞書内容の編集」ウィンドウで、「登録」を左クリックします。



2 読み、単語を入力し、品詞を選択します。

3 「登録」を左クリックして、単語を登録します。

メモ 動詞・形容詞・形容動詞などの活用は、目的の品詞を選択して活用例を表示して確認します。



☑ [メモ] 品詞には、次のものがあります。

名詞	名詞	2階建て住宅、など
	サ変複合名詞	愛(-する)、惨敗(-する)、など
	名	命(-ずる)、など
	サ変複合名詞	命(-ずる)、など
	形容動詞複合名詞	純粹(-な)、など
	人名(姓)	野毛、北小路、など
	人名(名)	教子、陽水、など
動詞	地名	雑司が谷、千駄ヶ谷、など
	団体名	レイク相模協会、など
	物の名称	法隆寺、など
	その他の名詞	象牙、など
	動詞カ行五段	聞-く、咲-く、など
	動詞ガ行五段	泳-ぐ、騒-ぐ、など
	動詞サ行五段	話-す、離-す、など
	動詞タ行五段	勝-つ、立-つ、など
	動詞ナ行五段	死-ぬ、など
	動詞/ ヱ行五段	飛-ぶ、転-ぶ、など
	動詞マ行五段	読-む、囲-む、など
	動詞ラ行五段	着-る、切-る、など
	動詞ワ行五段	使-う、遣-う、など
その他	動詞ザ行変格	為-す、す-る、など
	動詞ゼ行変格	高-ずる、甘ん-ずる、など
	動詞カ行変格	来-る、など
	動詞上下一段	見-る(語尾が50音のイ列：上一段) 教え-る(語尾が50音のエ列：下一段)、など
	形容詞	新し-い、良-い、など (ク活用とシク活用は区別しない)
	形容動詞	静か-だ、おだやか-だ、など
	数字・数表現	Ⅳ、壱、四本、八番目、など
	感動詞	ああ、おお、など
	接続詞	ところで、など
	副詞	たいへん、ほんとうに、など
他	連体詞	あの、その、この、など
	慣用句	ただ今、など
	単漢字	俎、瀆、嵐、など
	接頭語	お…、ご…、など
	接尾語	…個、…様、など

登録した単語を削除するには

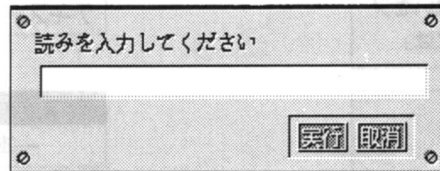
登録した単語を削除するときは、次のようにします。

- 1 「辞書内容の編集」ウィンドウで、削除する単語を選択します。
複数の単語を選択することもできます。
- 2 **削除** を左クリックすると、確認のダイアログが表示されます。
- 3 削除するかどうかを確認し、**実行** を左クリックします。

編集する単語を探すには

編集する単語を検索するときは、次のようにします。

- 1 「辞書内容の編集」ウィンドウで、**検索** を左クリックします。



- 2 検索する単語の読みを入力し、**実行** を左クリックします。
検索した単語が表示されます。

4-3

2つの辞書ファイルを一本化するには

辞書マージ

辞書マージできる辞書ファイル

ASK68K ver.3.0で
使用できる辞書ファイルのみです。

差分ファイル(テキストファイル)やASK68K ver.2.0の辞書ファイルは、データ変換したあと辞書マージしてください。

辞書差分

☐参照

「4-4 辞書の違いをファイルにするには」

データ変換

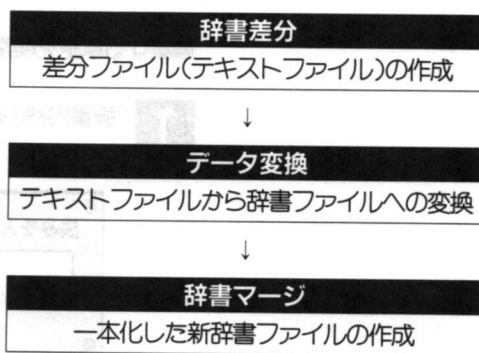
☐参照

「4-6 辞書ファイルに変換するには」

2つの辞書ファイルを一本化して新しい辞書ファイルを作るときは、「辞書マージ」を使います。

「辞書マージ」を使うと、データ変換した辞書ファイルの単語を、現在使用中の辞書ファイルに追加した、新しい辞書ファイルを作成できます。

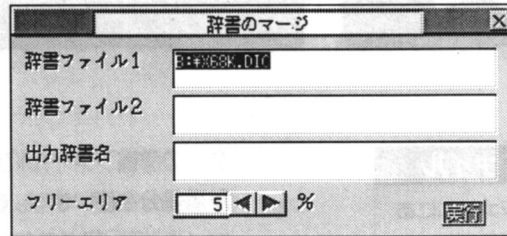
2つの辞書ファイルにある単語の違いを調べ、違いのある単語を追加するには、次のようにします。



☐メモ・辞書マージすると、新しくできる辞書ファイルは元の辞書ファイルよりサイズが大きくなりますので、新しくできる辞書ファイルを保存するフロッピーディスクの残り容量を確認してください。
フォーマットしたばかりのフロッピーディスクに、新しい辞書ファイルを作ることをお勧めします。
また、ハードディスクに新しい辞書ファイルを作るときは、ハードディスクの残り容量を確認してください。

☐メモ・サイズが1 M/バイト以上の辞書を作成することはできません。

- 1 メニューウィンドウで「辞書マージ」を左クリックします。



- 2 2つの辞書ファイル名を「辞書ファイル1」と「辞書ファイル2」に入力します。

- 3 新しくできる辞書ファイル名を「出力辞書名」に入力します。

- 4 必要に応じてフリーエリア(単語登録する領域)のサイズを指定します。

- 5 「実行」を左クリックすると、辞書マージを行います。

4-4

辞書の違いをファイルにするには

辞書差分

差分ファイル

対象辞書ファイルにあり、参照辞書ファイルにない単語をテキストファイルにしたもの。日本語マルチフォントエディタで編集できません。

差分ファイルの辞書ファイルへの組み込み

- ①データ変換で、差分ファイル(テキストファイル)を、ASK68K ver.3.0で使える辞書ファイルにします。
- ②辞書マージで、辞書ファイルとデータ変換した辞書ファイルを一本化します。

データ変換



「4-6 辞書ファイルに変換するには」

辞書マージ



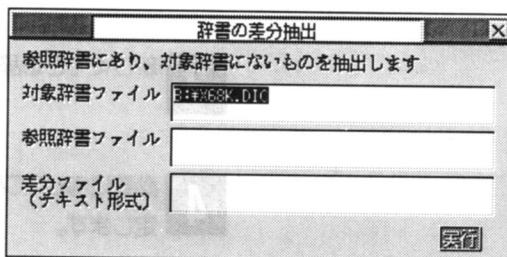
「4-3 2つの辞書ファイルを一本化するには」

差分ファイルの印刷

日本語マルチフォントエディタに読み込んで印刷します。

2つの辞書ファイルに登録した単語の違いをファイルするときには、辞書差分を使います。登録単語の違いは、差分ファイル(テキストファイル)に保存されます。

- 1 メニューウィンドウで「辞書差分」を左クリックします。



- 2 参照辞書ファイルにあり、対象辞書ファイルにない単語を抽出するために、対象辞書ファイル名と参照辞書ファイル名を入力します。

- 3 差分ファイル名を入力し「実行」を左クリックすると、差分ファイルが作成されます。

4-5

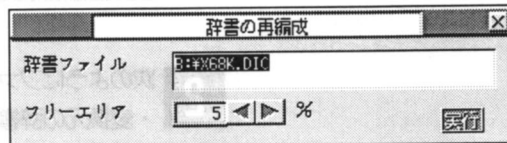
さらに単語登録できるようにするには

辞書再編成

登録した単語で満杯になった辞書ファイルを整理し、さらに単語登録できるようにするときは、辞書再編成を行います。単語登録エリアを拡大することができます。

- メモ
 ・辞書を再編成すると、新しくできる辞書ファイルは元の辞書ファイルよりサイズが大きくなるので、新しくできる辞書ファイルを保存するフロッピーディスクの残り容量を確認してください。
 フォーマットしたばかりのフロッピーディスクに、新しい辞書ファイルを作ることをお勧めします。
 また、ハードディスクに新しい辞書ファイルを作るときは、ハードディスクの残り容量を確認してください。
- ・サイズが1 Mバイト以上の辞書を作成することはできません。

1 メニューウィンドウで **辞書再編成** を左クリックします。



2 辞書ファイル名を確認し、フリーエリア(単語登録する領域のサイズ)を指定し、**実行** を左クリックします。
単語登録する領域が広がります。

- メモ
 辞書再編成を実行するとき、カレントドライブ(起動したドライブ)にテンポラリファイルを作成します。
 フロッピーディスクでご使用の方は、起動したドライブに十分な空き容量のあるフロッピーディスクを入れて実行してください。

4-6

辞書ファイルに変換するには
データ変換

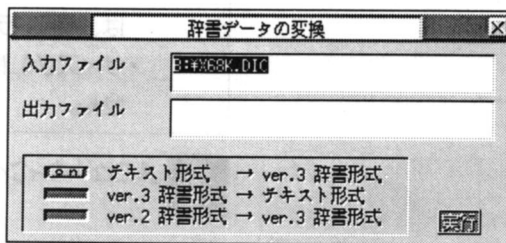
4

差分ファイル(テキストファイル)やASK68K ver.1.0またはver.2.0の辞書(X68K_M.DIC、X68K_S.DIC)を、ASK68K ver.3.0で使えるようにするときには、データ変換を使います。

データ変換を使うと、次のように変換できます。

- ・テキストファイル → ASK68K ver.3.0の辞書ファイル
- ・ASK68K ver.3.0の辞書ファイル → テキストファイル
- ・ASK68K ver.1.0または ver.2.0 → ASK68K ver.3.0の辞書ファイル

1 メニューウィンドウで「データ変換」を左クリックします。



2 次のようにファイル名を入力します。

- ・変換元の辞書ファイル名 → 「入力ファイル」
- ・変換結果の辞書ファイル名 → 「出力ファイル」

3 変換方法を選択し、「実行」を左クリックすると、確認のダイアログが表示されます。

4 「確認」を左クリックすると、データ変換が実行されます。

4-7

一時的に日本語入力環境を変えるには 環境再設定

変更した日本語入力環境で常時使うには

CONFIG.SYSで設定されている環境ファイルを変更します。

環境ファイルの作成
CONFIG.SYS

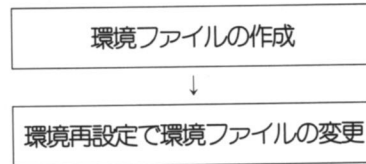
参照

「3-4 自分流に日本語を入力できるようにするには」

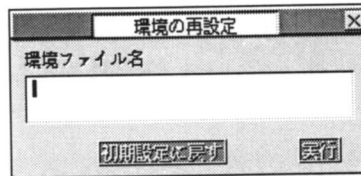
立ち上げ時の環境に戻す

を左クリックします。

日本語入力の環境を一時的に変えるときは、次のようにします。



1 メニューウィンドウで を左クリックします。



2 環境ファイル名を入力し、 を左クリックします。指定した環境ファイルの内容が設定されます。

日本語を学ぶための日本語の教科書



4

辞書ユーティリティ

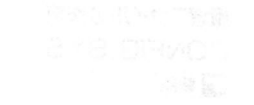
日本語を学ぶための日本語の教科書



日本語を学ぶための日本語の教科書

日本語を学ぶための日本語の教科書

日本語を学ぶための日本語の教科書



日本語を学ぶための日本語の教科書

日本語を学ぶための日本語の教科書

日本語を学ぶための日本語の教科書



日本語を学ぶための日本語の教科書

付 録

1

キー操作一覧

標準の環境ファイル (ENV1.ASK) で割り付けられているキー操作について説明します。

●変換操作

スペース] [XF 3]	かな漢字変換する
スペース] ([XF 3] のあと CTRL] + [XF 2]	反転表示を全角ひらがなに変換する
スペース] ([XF 3] のあと CTRL] + [XF 3]	反転表示を全角カタカナに変換する
スペース] ([XF 3] のあと CTRL] + [XF 4]	反転表示を半角に変換する
スペース] ([XF 3] のあと CTRL] + [XF 5]	反転表示を入力した文字の全角英字に変換する (かな入力時は英字にならない)
☑	反転表示を確定する
[XF 5]	変換エリアにある全文を確定する
[ESC]	変換結果をキャンセルして読みに戻す

●文節の操作

[XF 1]	前の文節を反転表示させる
[XF 2]	次の文節を反転表示させる
[SHIFT] + [XF 1]	いま反転表示になっている文節を、読み1字分短くする
[SHIFT] + [XF 2]	いま反転表示になっている文節を、読み1字分長くする

●表示選択モードでの操作

[スペース]、[XF3]、[→]	次の候補を反転表示させる
[←]、[SHIFT]+[XF3]	前の候補を反転表示させる
[↓]	次の一覧表を表示する
[↑]	前の一覧表を表示する
[☺]	反転表示している候補を選択する
[XF5]	変換エリアにある全文を確定する
数字キー	指定した番号の候補を選択する
[ESC]	表示選択モードから、ひらがなに戻る

●環境設定キー

[登録] (漢字変換中)	日本語辞書に単語を登録する
[F7]	コード入力で使うコード体系 (JIS/シフト JIS/区点) を切り替える
[F8]	辞書を変更する
[F9]	辞書の学習機能 (する/しない) を切り替える
[F10]	変換モード先読み/一括変換/一括変換/逐次自動変換、を切り替える

●句読点など (ローマ字入力モード時)

[く、ね]	読点 (、)
[>。る]	句点 (。)
[? / め]	中黒 (・)
[「]	始めカギカッコ (「)
[」む]	終りカギカッコ (」)

2

ローマ字 / かな対応表

あ	い	う	え	お
A	I,YI	U,WU	E	O
か	き	く	け	こ
KA,CA	KI	KU,CU QU,KWU	KE	KO,CO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI,SHI,CI	SU	SE,CE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI,CHI	TU,TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU,FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA,LA	RI,LI	RU,LU	RE,LE	RO,LO
わ				を
WA				WO
あ	い	う	え	お
[SHIFT]+A	[SHIFT]+I	[SHIFT]+U	[SHIFT]+E	[SHIFT]+O
や		ゆ		よ
[SHIFT]+YA		[SHIFT]+YU		[SHIFT]+YO
っ [SHIFT]+Z, [SHIFT]+TU, [SHIFT]+TSU, 子音を重ねる(かった KATTA)				
ん X,Nの次に□(アポストロフ), NN,Nの次に子音(おんがく ONGAKU)				
ー(長音) - (マイナスキー)				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU,QWU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI,JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
			いえ	
			YE	

	うい		うえ	
	WI		WE	
きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くあ	くい		くえ	くお
KWA QA	KWI QI		KWE QE	KWO QO
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
SYASHA	SYI	SYUSHU	SYESHE	SYOSHO
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
TYACYA CHA	TYI,CYI	TYUCYU CHU	TYECYE CHE	TYOCYO CHO
つあ	つい		つえ	つお
TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
THA	THI	THU	THE	THO
にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふあ	ふい		ふえ	ふお
FA	FI,FYI		FE,FYE	FO
ふゃ		ふゅ		ふよ
FYA		FYU		FYO
みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
RYALYA	RYI,LYI	RYULYU	RYELYE	RYOLYO
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐあ	ぐい		ぐえ	ぐお
GWA	GWI		GWE	GWO
じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
ZYAJYAJA	ZYI,JYI	ZYUJYUJU	ZYEJYEJE	ZYOJYOJO
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ヴあ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴお
VA	VI	VU	VE	VO

3

コード表

キャラクタコード表

ここでは、1バイトコード（半角文字）の一覧表を示します。
1バイトコード文字には、キャラクタコードの0~255(16進数で0~&HFF)が割り当てられています。

キャラクタコードに割り当てられている文字には、図形文字と制御文字があります。図形文字は、画面上の表示やプリンタの印刷のための文字で、制御文字は画面の制御とプリンタの制御のための文字です。プリンタに対する制御文字の働きについては、各プリンタの取扱説明書を参照してください。

また、&H80~&H9F、&HE0~&HFFまでは、漢字などの2バイトコード文字の1バイト目として使用されます。

		上位4ビット→																
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
← 7 6 5 4 3 2 1 0 ビット	0	プリンタローカルキャラクタ									2バイトコード文字の1バイト目							
	1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム	2バイトコード文字の1バイト目		
	2			"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ			
	3			#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ			
	4			\$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ			
	5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ			
	6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ			
	7			'	7	G	W	g	w			ア	キ	ヌ	ラ			
	8			(8	H	X	h	x			イ	ク	ネ	リ			
	9)	9	I	Y	i	y			ウ	ケ	ノ	ル			
	A			*	:	J	Z	j	z			エ	コ	ハ	レ			
	B			+	;	K	[k	{			オ	サ	ヒ	ロ			
	C			,	<	L	¥	l				ヤ	シ	フ	ワ			
	D			-	=	M]	m	}			ユ	ス	ヘ	ン			
	E			.	>	N	^	n	~			ヨ	セ	ホ	ッ			
	F			/	?	O	_	o				ッ	ソ	マ	。			

付録

非漢字およびJIS第1水準、第2水準漢字コード表

ここでは、英数字、記号などを含む非漢字、JIS第1水準漢字、JIS第2水準漢字などの全角文字のコード表を示します。

また、JISコード、シフトJISコード、区点コードの各コードは16進数法で、次のように計算します。

例 「移」の各コードの読み方

+0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
88CE:3050:1648: 夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃

・「移」のシフトJISコード

「88CE」の下2けた「CE」に、上の表示「+C(+12)」を16進数で足します。

C	E	12	14	88CE+C=88DA
+	C	→	+	12
				12 26
				(-16)
				13 10
		↓	↓	
		D	A	

・「移」のJISコード

「3050」の下1けたを、上の表示の「C」と入れ換えます。

$3050 + C = 305C$

・「移」の区点コード

「1648」に、上の表示の「C」の該当数値を足します。

$1648 + C(+12) = 1660$

【メモ】 JIS第1水準漢字はよみの50音順に、第2水準漢字は部首別に分類されています。

●非漢字全角文字コード表

77卜J:JIS :7777 :	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
813F:2120:0100:		^	~			ゞ	”	全“	?	!	〇	一	一	一
815F:2140:0132:		\	~			ゞ	”	全“	?	!	〇	一	一	一
816F:2150:0148:		{	}	<	>	<<	>>	「	」	『	』	【	】	〔	〕	〔
8180:2160:0164:		÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	〇	+	-	±
8190:2170:0180:		\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇
819E:2220:0200:			◆	□	■	△	▲	▼	▽	※	〒	→	←	↑	↓	≡
81AE:2230:0216:												ε	≡	≡	≡	≡
81BE:2240:0232:		U	∩									∧	∨	∩	∪	∩
81CE:2250:0248:		∩										∧	∨	∩	∪	∩
81DE:2260:0264:		∇	≡	≡	≡	≡	√	∞	∞	∴	∩	∩	∩	∩	∩	∩
81EE:2270:0280:			≡	≡	≡	√	∞	∞	∴	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩
823F:2320:0300:																
824F:2330:0316:		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
825F:2340:0332:		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
826F:2350:0348:		P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	k	l	m	n
8280:2360:0364:		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	か	け	こ	く
8290:2370:0380:		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	か	け	こ	く
829E:2420:0400:			あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
82AE:2430:0416:		ぐ	あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
82BE:2440:0432:		だ	あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
82CE:2450:0448:		ば	あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
82DE:2460:0464:		む	あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
82EE:2470:0480:		る	あ	い	う	え	お	か	け	こ	く	さ	せ	そ	た	た
833F:2520:0500:			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
834F:2530:0516:		グ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
835F:2540:0532:		ダ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
836F:2550:0548:		バ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
8380:2560:0564:		ム	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
8390:2570:0580:		キ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ケ	コ	ク	サ	セ	ソ	タ	タ
839E:2620:0600:			A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ
83AE:2630:0616:		Π	P	Σ	T	Φ	X	Ψ	Ω		ι	κ	λ	μ	ν	ξ
83BE:2640:0632:			α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ
83CE:2650:0648:		π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω						
83DE:2660:0664:																
83EE:2670:0680:																
843F:2720:0700:		A	B	B	Γ	Δ	E	E	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
844F:2730:0716:		О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Ш	Ъ	Ы	Ь
845F:2740:0732:		Ю	Я													
846F:2750:0748:			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
8480:2760:0764:		о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	ш	ъ	ы	ь
8490:2770:0780:		ю	я													
849E:2820:0800:			┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐
84AE:2830:0816:		┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└
84BE:2840:0832:		┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└

付録

●JIS第1水準漢字コード表

	7	JIS	: 7	シ	: +0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
	ア	889E:3020:1600:				亞	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
		889E:3020:1600:				旭	葦	蓼	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
		88AE:3030:1616:				粟	裕	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
		88BE:3040:1632:																		
		88BE:3040:1632:																		
		88CE:3050:1648:				夷	委	威	惟	意	慰	易	椅	為	以	伊	位	依	偉	困
		88DE:3060:1664:				菱	衣	謂	遺	医	井	亥	域	育	畏	異	移	維	緯	胃
		88EE:3070:1680:				稻	茨	芋	允	印	咽	員	因	姻	郁	磯	一	志	溢	逸
		893F:3120:1700:					院	陰	韻	吋										
		893F:3120:1700:																		
		894F:3130:1716:				確	臼	渦	唄	蔚	蔚	鱧	姥	厩	迂	雨	卯	鸚	窺	丑
		895F:3140:1732:				雲														
		895F:3140:1732:					荏	餌	營	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
		896F:3150:1748:				穎	英	衛	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閨	櫻	厭	円
		8980:3160:1764:				園	堰	奄	延	怨	掩	沿	温	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
		8990:3170:1780:				艶	苑	菌	鉛	駕	塩									
		8990:3170:1780:																		
		899E:3220:1800:					押	旺	欧	毆	王	卸	恩	温	音					
		89AE:3230:1816:				屋	憶	臆	牡	乙	俺	卸	思	温	穩					
		89AE:3230:1816:																		
		89BE:3240:1832:				伽	伽	佳	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	下	化	飯	何
		89CE:3250:1848:				火	過	禍	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	架	歌	河	貨
		89DE:3260:1864:				介	會	霞	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蝦	課	嘩	貨	駕
		89EE:3270:1880:					魁	解	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A3F:3320:1900:					咳	晦	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A4F:3330:1916:				外	柿	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A5F:3340:1932:				垣	角	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A6F:3350:1948:				覺	梔	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A80:3360:1964:					梔	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A90:3370:1980:				叶	梔	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8A9E:3420:2000:					梔	害	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	課	嘩	貨	駕
		8AAE:3430:2016:				完	漢	寬	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	下	化	飯	何
		8ABE:3440:2032:				汗	漢	寬	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	下	化	飯	何
		8ACE:3450:2048:				莞	觀	潤	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	架	課	嘩	貨
		8ADE:3460:2064:				巖	玩	諫	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蝦	課	嘩	貨	駕
		8ADE:3460:2064:																		
		8AEE:3470:2080:				基	官	嬉	岐	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起
		8B3F:3520:2100:					漢	歸	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B4F:3530:2116:				軌	義	騎	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B5F:3540:2132:				祇	却	誼	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B6F:3550:2148:				黍	求	脚	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B80:3560:2164:				朽	汲	泣	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B90:3570:2180:				巨	拒	泣	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8B9E:3620:2200:					供	泣	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8BAE:3630:2216:				彊	怯	泣	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8BBE:3640:2232:				鏡	響	驚	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8BCE:3650:2248:				勤	均	巾	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑
		8BDE:3660:2264:				謹	近	吟	氣	龜	幾	忌	揮	旗	企	危	喜	器	起	疑

付録

ク

ケ

コ

サ

シ

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
977J:JIS :777 :																
8BDE:3660:2264:	駒	具掘訓	愚窟群	虞查軍	喰靴郡	九空齋	俱偶窪	句寓熊	区遇隈	狗隅彖	玖串栗	矩櫛縹	苦鉏桑	軀屑歛	驅屈勳	駮君
8BEE:3670:2280:	薰	契経劇俛	形繼戟倦檢險諺	徑繫擊健權頭限	惠野激兼牽驗	卦慧荊桁劍献元	袈憩蚩傑喧研原	祁掲計欠圈硯廠	係携詣決堅絹幻	傾敬警潔嫌臬弦	刑景輕穴建肩減	兄桂頸結憲見源	啓溪鷄血懸謙玄	圭畦芸訣拳賢現	珪稽迎月捲軒絃	型系鯨件 遣駮
8C3F:3720:2300:		湖伍乞	狐午鯉后恒港膏香国此良	糊吳交喉慌溝航高穀頃魂	平袴吾伎坑抗甲荒鴻酷今	古胡後候好控硬衡劫黑坤	呼菰御倅孔攻稿講号獄壘	固虎悟光孝昂糠貢合漉婚	姑誇梧公宏晃紅購壕腰恨	孤跨橋功工更絃郊拷甑懇	己鈷瑚効巧杭絞醇濠忽昏	庫雇基勾巷校綱鉞豪惚昆	弧顧語厚幸梗耕砒轟骨根	戸鼓誤口広構考鋼麴狛柵	故五護向庚江肯閤克込混	枯互翻 康洪肱降刻 痕
8C4F:3730:2316:		弘浩腔項告	坐濟罪控察傘餐	座災財昨拶參斬	些挫采冴朔撮山暫	又催碎阪窄札撒	唆再砦堺策殺散	嗟最祭榭索薩棧	左哉齋肴錯雜燦	差塞細咲桜阜珊	查妻菜崎蛙鯖産	沙宰裁琦笹捌算	瑳彩載碯匙鏽纂	砂才際鷲冊鮫蚕	詐採劑作刷皿讚	鎖栽在削 晒贊
8C5F:3740:2332:		三酸	姿氏資次識質煮积趣宗襲汁術潤書勝匠床沼	屍祉雌治竺葩紗若首州蹴獸俊純蒞升廠消	市私飼爾璽穴偲謝弱受愁週重春遵助哨承湘	仕師糸鹵璽穴偲謝弱受愁週重春遵助哨承湘	仔志紙事痔雫柴車惹呪拾酋銃瞬醇叙商抄燒	伺思紫似磁七芝遮主寿洲酬叔竣順女唱招焦	使指肢侍示叱屢蛇取授秀集夙舜処序嘗掌照	刺支脂兒而執蕊邪守樹秋醜宿駿初徐奘捷症	司致至字耳失縞借手綬終什淑准所恕妾昇省	史斯視寺自嫉舍勺朱需繡住祝循暑鋤娼昌硝	嗣施詞慈蒔室写尺殊囚習充縮旬曙除宵昭礁	四旨詩持辞悉射杓狩収臭十肅楯渚傷将晶祥	士枝試時汐湿捨灼珠周舟從塾殉庶償小松称	始止誌 鹿漆赦爵種 菟戎熟淳緒 少梢章
8C6F:3750:2348:		衆柔出準署														
8C80:3760:2364:		尚樟														
8C90:3770:2380:																
8C9E:3820:2400:																
8CAE:3830:2416:																
8CBE:3840:2432:																
8CCE:3850:2448:																
8CDE:3860:2464:																
8CEE:3870:2480:																
8D3F:3920:2500:																
8D4F:3930:2516:																
8D5F:3940:2532:																
8D6F:3950:2548:																
8D80:3960:2564:																
8D90:3970:2580:																
8D9E:3A20:2600:																
8DAE:3A30:2616:																
8DAE:3A30:2616:																
8DBE:3A40:2632:																
8DCE:3A50:2648:																
8DDE:3A60:2664:																
8DEE:3A70:2680:																
8E3F:3B20:2700:																
8E4F:3B30:2716:																
8E5F:3B40:2732:																
8E5F:3B40:2732:																
8E6F:3B50:2748:																
8E80:3B60:2764:																
8E90:3B70:2780:																
8E9E:3C20:2800:																
8EAE:3C30:2816:																
8EBE:3C40:2832:																
8ECE:3C50:2848:																
8EDE:3C60:2864:																
8EEE:3C70:2880:																
8F3F:3D20:2900:																
8F4F:3D30:2916:																
8F5F:3D40:2932:																
8F6F:3D50:2948:																
8F80:3D60:2964:																
8F90:3D70:2980:																
8F9E:3E20:3000:																
8FAE:3E30:3016:																
8FBE:3E40:3032:																

777J:JIS :777 :	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
8FCE:3E50:3048:	笑	粧	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
8FDE:3E60:3064:	鉦	鍾	鐘	障	萑	上	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	嬖	常
8FEE:3E70:3080:	情	擾	条	杖	淨	狀	豐	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	墟	飾	侵
903F:3F20:3100:	昏	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	信	真
904F:3F30:3116:	神	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹	刃
905F:3F40:3132:	塵	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	榛	針	震	人	仁	厨
906F:3F50:3148:		壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝	進	針	震	人	仁	厨
906F:3F50:3148:		塵	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝	進	針	震	人	仁	厨
9080:3F60:3164:	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	筍	誦	須	醉	凶	厨
9090:3F70:3180:	瑞	髓	崇	嵩	數	樞	趨	雛	据	杉	相	菅	頰	雀	裾	厨
909E:4020:3200:		澄	摺	寸	世											
909E:4020:3200:		澄	摺	寸	世											
90AE:4030:3216:	整	星	晴	棲	栖	瀨	畝	是	淒	制	勢	姓	征	性	政	政
90BE:4040:3232:	誓	請	逝	醒	青	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	誠	誠
90CE:4050:3248:	石	積	籍	績	脊	靜	齊	稅	脆	雙	席	借	戚	斥	析	析
90DE:4060:3264:	窃	節	說	雪	絕	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	設	設
90EE:4070:3280:	扇	撰	說	梅	泉	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	撰	設	設
913F:4120:3300:		織	桂	瞭	舛	淺	洗	染	潜	煎	燭	旋	穿	尖	設	設
914F:4130:3316:	前	善	羨	然	全	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	線	設	設
914F:4130:3316:		善	羨	然	全	禪	繕	膳	糧	糧	選	遷	錢	線	設	設
915F:4140:3332:	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	塑	阻	措	曾	楚	楚
916F:4150:3348:	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	訴	阻	選	僧	創	創
9180:4160:3364:	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	恕	想	搜	掃	搔	搔
9190:4170:3380:	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遣	鎗	相	窓	糟	綜	俗	俗
919E:4220:3400:		臆	藏	贈	造	促	側	則	即	息	霜	駭	像	增	多	多
91AE:4230:3416:	厲	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	捉	損	測	速	堆	堆
91AE:4230:3416:		賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	捉	損	測	速	堆	堆
91BE:4240:3432:	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	舵	精	精	陀	馱	驛	誰	誰
91CE:4250:3448:	对	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	滯	題	胎	腿	苔	誰	誰
91DE:4260:3464:	退	達	隊	黛	鯛	代	台	大	第	題	諾	臙	淹	瀧	誰	誰
91EE:4270:3480:	宅	托	扞	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	榭	茸	胤	只	誰	誰
923F:4320:3500:		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	樽	誰	誰
924F:4330:3516:	丹	單	嘆	坦	担	探	旦	歎	斷	湛	炭	短	端	綻	誰	誰
925F:4340:3532:	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	綻	誰	誰
925F:4340:3532:		蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	綻	誰	誰
926F:4350:3548:	弛	恥	智	池	痴	置	致	致	致	遲	馳	築	畜	知	地	地
9280:4360:3564:	逐	秩	窒	茶	矯	中	仲	仲	致	忠	抽	昼	柱	筑	蓄	蓄
9290:4370:3580:	註	耐	鑄	駐	樗	猪	芋	芋	致	貯	丁	兆	凋	虫	表	表
929E:4420:3600:		帖	帳	疇	弔	彫	微	微	致	挑	暢	朝	潮	龍	眺	眺
92AE:4430:3616:	聽	脹	腸	蝶	調	超	跳	跳	致	長	頂	鳥	勅	町	眺	眺
92BE:4440:3632:	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	樅	樅	追	痛	壺	通	柁	眺	眺
92BE:4440:3632:		珍	賃	鎮	陳	薦	綴	鐸	樅	漬	壺	壺	壺	柁	眺	眺
92CE:4450:3648:	槻	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鐸	樅	漬	壺	壺	壺	柁	眺	眺
92DE:4460:3664:	釣	鶴	漬	柘	辻	薦	綴	鐸	樅	漬	壺	壺	壺	柁	眺	眺
92DE:4460:3664:		鶴	漬	柘	辻	薦	綴	鐸	樅	漬	壺	壺	壺	柁	眺	眺
92EE:4470:3680:	悌	抵	亭	低	停	偵	刺	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	廷
933F:4520:3700:		邸	挺	提	梯	汀	碓	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	通
934F:4530:3716:	徹	邸	鄭	提	梯	泥	碓	禎	敵	滴	的	笛	適	蹄	通	通
935F:4540:3732:	点	撤	鄭	提	梯	典	填	擢	展	店	添	縷	甜	貼	通	通
935F:4540:3732:		撤	鄭	提	梯	典	填	擢	展	店	添	縷	甜	貼	通	通
935F:4540:3732:		撤	鄭	提	梯	典	填	擢	展	店	添	縷	甜	貼	通	通
936F:4550:3748:	登	菟	賭	途	都	鍍	兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	杜
936F:4550:3748:		菟	賭	途	都	鍍	兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	杜

又

七

ソ

夕

子

ツ

テ

ト

付録

ナ
ニ
又
ネ
ノ
ハ
ヒ
フ
ヘ
ホ
マ

9380:4560:3764:	+0 凍盜	+1 刀淘董同德苦那難	+2 唐湯蕩堂流寅内汝	+3 塔涛藤導特西乍	+4 塘灯討憧督滯風	+5 套燈膾撞秃噸雞	+6 宕当豆洞篤屯謎	+7 島痘踏腫毒惇灘	+8 鳴痔逃童独敦捺	+9 悼等透胴誦沌鍋	+A 投答鏡萄柄豚槽	+B 搭筒陶道橡遁馴	+C 東糖頭銅凸頓繩	+D 桃統騰峠突吞噉	+E 栲到闊鴉椴曇南	+F 棟 働匿届鈍桶
9390:4570:3780:	動得蔦奈軟	如	尿	二菲	尼任	式妊	迺忍	句認	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
939E:4620:3800:																
93AE:4630:3816:																
93BE:4640:3832:																
93CE:4650:3848:																
93DE:4660:3864:																
93EE:4670:3880:																
93EE:4670:3880:																
943F:4720:3900:																
943F:4720:3900:																
943F:4720:3900:																
944F:4730:3916:																
944F:4730:3916:																
944F:4730:3916:																
945F:4740:3932:																
945F:4740:3932:																
946F:4750:3948:																
9480:4760:3964:																
9490:4770:3980:																
949E:4820:4000:																
94AE:4830:4016:																
94BE:4840:4032:																
94CE:4850:4048:																
94CE:4850:4048:																
94DE:4860:4064:																
94EE:4870:4080:																
953F:4920:4100:																
954F:4930:4116:																
955F:4940:4132:																
956F:4950:4148:																
956F:4950:4148:																
9580:4960:4164:																
9590:4970:4180:																
959E:4A20:4200:																
95AE:4A30:4216:																
95AE:4A30:4216:																
95BE:4A40:4232:																
95CE:4A50:4248:																
95CE:4A50:4248:																
95DE:4A60:4264:																
95EE:4A70:4280:																
963F:4B20:4300:																
964F:4B30:4316:																
965F:4B40:4332:																
966F:4B50:4348:																
9680:4B60:4364:																
9690:4B70:4380:																
969E:4C20:4400:																

ミ
ム
メ
モ
ヤ
ユ
ヨ
ラ
リ
ル
レ
ロ
ワ

シフトJIS : JIS : 7テン :	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
969E:4C20:4400:				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
96AE:4C30:4416:	耗	民	眠													
96AE:4C30:4416:				務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘			
96AE:4C30:4416:														冥	名	命
96BE:4C40:4432:	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
96BE:4C40:4432:																
96CE:4C50:4448:	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	空	勿	餅
96DE:4C60:4464:	尤	戾	粉	貫	問	悶	紋	門	匆							
96DE:4C60:4464:																
96EE:4C70:4480:	矢	厄	役	約	葉	詛	躍	靖	柳	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
96EE:4C70:4480:																
973F:4D20:4500:												愉	愈	油	癒	湧
974F:4D30:4516:	涌	論	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	夕	予	余	与
974F:4D30:4516:																
975F:4D40:4532:	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	欲
976F:4D50:4548:	熔	用	窰	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	
9780:4D60:4564:	沃	浴	翌	翼	淀											
9780:4D60:4564:																
9790:4D70:4580:	乱	卵	嵐	欄	濫	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
9790:4D70:4580:																
979E:4E20:4600:									利	吏	履	李	梨	理	璃	溜
979E:4E20:4600:									率	立	律	掠	略	劉	流	凌
97AE:4E30:4616:	琉	留	裏	裡	里	離	陸	律	侶	良	麟	了	亮	僚	兩	力
97BE:4E40:4632:	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	稜	良	麟	遠	量	陵	領	
97CE:4E50:4648:	綠	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	臨	麟	麟					
97CE:4E50:4648:																
97DE:4E60:4664:	類												瑠	壘	淚	累
97DE:4E60:4664:																
97DE:4E60:4664:		令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	禮	苓	鈴	隸	零	靈	麗
97EE:4E70:4680:	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐	漣	煉	簾	練	聯	
983F:4F20:4700:		蓮	連	鍊												
983F:4F20:4700:					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	芳	婁	廊	弄	朗
984F:4F30:4716:	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	鑿	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄
985F:4F40:4732:	論															
985F:4F40:4732:		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	巨	鱈	訖	藁	蘇
986F:4F50:4748:	椀	灣	碗	腕												
9880:4F60:4764:																
9890:4F70:4780:																

付録

	シフトJ:JIS :クセツ :	+0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
大 ダイノブ	9ADE:5460:5264:	夫
	9AEE:5470:5280:	天 卒 夸 夾 奇 奕 奘 奎 奚 奘 奢 奘 奥 奘 奘
女 メナヘン	9B3F:5520:5300:	奸 妁 妝 佞 佞 妣 姐 姆 姨 姜 妍 姘 姚 娥 娟
	9B4F:5530:5316:	娑 娜 娉 娉 娉 婉 婉 媪 媪 媪 媪 媪 媪 媪 媪
	9B5F:5540:5332:	媽 媽 媽 媽 媽 媪 媪 媪 媪 媪 媪 媪 媪 媪
	9B6F:5550:5348:	媪 媪 媪
子 コヘン	9B6F:5550:5348:	子 孕 孚 孛 孛 孩 孰 孛 孛 孛 孛
宀 ウカンムリ	9B80:5560:5364:	它 宦 宸 寃 寇 宦 寃 寐 寃 寃 寃 寃 寃 寃
	9B90:5570:5380:	寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃 寃
寸 スンノブ	9B90:5570:5380:	尅 將 專 對
小 ショウノブ	9B90:5570:5380:	尔 尠
尢 タイノマゲイン	9B90:5570:5380:	尢 尠
尸 シカクノブ	9B90:5570:5380:	尸 尹 屁 屈 屎 屮
	9B9E:5620:5400:	屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮 屮
山 ヤマヘン	9B9E:5620:5400:	岬 岷 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫
	9BAE:5630:5416:	岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫
	9BBE:5640:5432:	岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫
	9BCE:5650:5448:	岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫 岫
凵 マガリボ	9BCE:5650:5448:	凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵 凵
工 クワミヘン	9BDE:5660:5464:	巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫 巫
己 キヘン	9BDE:5660:5464:	己 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮 卮
巾 ヒンヘン	9BDE:5660:5464:	帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑 帑
	9BEE:5670:5480:	幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟 幟
干 カンノヘン	9BEE:5670:5480:	干 井 井 井 井 井 井 井 井 井 井 井 井
幺 イトガシラ	9BEE:5670:5480:	幺 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼 麼
广 マダレ	9BEE:5670:5480:	廖 廣 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐
	9C3F:5720:5500:	廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐 廐
廴 エンニョウ	9C3F:5720:5500:	廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴 廴
井 ニジュウアシノブ	9C4F:5730:5516:	井 弃 井 彝 彝
弋 シキガエ	9C4F:5730:5516:	弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋 弋

付録

シ卜J:JIS :クテン : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
9C4F:5730:5516: 弓 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗 彗

弓

ユミヘン

互

ケイガシラ

三

サンブクリ

彳

キョウニンベシ

9C5F:5740:5532: 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳

9C5F:5740:5532: 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳

9C5F:5740:5532: 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳

9C6F:5750:5548: 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳 彳

<4画>

心

リッパンベシ

9C6F:5750:5548: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9C80:5760:5564: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9C90:5770:5580: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9C9E:5820:5600: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9CAE:5830:5616: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9CBE:5840:5632: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9CCE:5850:5648: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9CDE:5860:5664: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪
9CEE:5870:5680: 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪 忪

戈

ホコツクリ

9CEE:5870:5680: 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈 戈
9D3F:5920:5700: 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛 戛

扌

トカンムリ

手

テヘン

9D3F:5920:5700: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D3F:5920:5700: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D4F:5930:5716: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D5F:5940:5732: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D6F:5950:5748: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D80:5960:5764: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D90:5970:5780: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9D9E:5A20:5800: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌
9DAE:5A30:5816: 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌

攴

ホクニョウ

9DAE:5A30:5816: 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴
9DBE:5A40:5832: 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴 攴

斗

トマス

9DBE:5A40:5832: 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗
9DCE:5A50:5848: 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛 斛

斤

オノゾクリ

9DCE:5A50:5848: 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤 斤

方

ホウヘン

9DCE:5A50:5848: 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃 旃

无

ムニョウ

9DCE:5A50:5848: 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无 无

日

ヒヘン

9DCE:5A50:5848: 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞
9DDE:5A60:5864: 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞
9DEE:5A70:5880: 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞
9E3F:5B20:5900: 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞

日

ヒラヒ

9E3F:5B20:5900: 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

付録

	シフトJ:JIS :クテン :	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	
月 ツキヘン	9E3F:5B20:5900: 9E4F:5B30:5916:			朧	霸									朧	朧	朧	朧	
木 キヘン	9E4F:5B30:5916: 9E5F:5B40:5932: 9E6F:5B50:5948: 9E80:5B60:5964: 9E90:5B70:5980: 9E9E:5C20:6000: 9EAE:5C30:6016: 9EBE:5C40:6032: 9ECE:5C50:6048: 9EDE:5C60:6064: 9EEE:5C70:6080: 9F3F:5D20:6100: 9F4F:5D30:6116:		杰	柁	杓	束	朶	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杰	
欠 アケビヘン	9F4F:5D30:6116: 9F5F:5D40:6132:		欵	欵	欵	欵	欵				欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	
止 トメヘン	9F5F:5D40:6132:						歸											
歹 ガクヘン	9F5F:5D40:6132: 9F6F:5D50:6148:		殪	殪	殪	殪	殪		歹	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	
殳 ホコブクリ	9F6F:5D50:6148:						殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳	
母 ナカレヘン	9F6F:5D50:6148:											母	毓					
毛 ケノヘン	9F6F:5D50:6148: 9F80:5D60:6164:													毫	毳	毳	毳	
氏 ウジノヘン	9F80:5D60:6164:					氓												
气 キガフエ	9F80:5D60:6164:					气	氛	氤	氣									
水 サンスイ	9F80:5D60:6164: 9F90:5D70:6180: 9F9E:5E20:6200: 9FAE:5E30:6216: 9FBE:5E40:6232: 9FCE:5E50:6248: 9FDE:5E60:6264: 9FEE:5E70:6280: E03F:5F20:6300: E04F:5F30:6316: E05F:5F40:6332: E06F:5F50:6348:	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	泄	洑	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
火 ヒノフ	E06F:5F50:6348:								炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	

付録

シフトJ:JIS :7テン : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
 E080:5F60:6364: 烙 焉 烽 焜 焙 煨 熙 熙 煦 煢 煌 煖 煨 燬 燬 燬
 E090:5F70:6380: 煩 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨
 E09E:6020:6400: 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨 熨

爪

ソクニョウ

E09E:6020:6400: 争 爬 爰 爲

爰

コウノフ

E09E:6020:6400: 爰 爰

片

ショウベン

E09E:6020:6400: 片 牀 牆

片

カタヘン

E0AE:6030:6416: 牀 牀

牛

ウシヘン

E0AE:6030:6416: 抵 牯 犂 犂 犂 犂 犂 犂 犂 犂

犬

ケモノヘン

E0AE:6030:6416: 犹 豺 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃

E0BE:6040:6432: 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃

E0CE:6050:6448: 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃 狃

<5画>

玉

タマヘン

E0CE:6050:6448: 珈 玳 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽 珽

E0DE:6060:6464: 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳

E0EE:6070:6480: 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳

瓜

ウリヘン

E13F:6120:6500: 瓠 瓠

瓦

カノフ

E13F:6120:6500: 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠 瓠

E14F:6130:6516: 瓠 瓠 瓠

甘

アマノフ

E14F:6130:6516: 甘

生

ウマレルノフ

E14F:6130:6516: 甞

用

モチイルノフ

E14F:6130:6516: 甞

田

タヘン

E14F:6130:6516: 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀

E15F:6140:6532: 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀 畀

疒

ヤマイケレ

E15F:6140:6532: 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒

E16F:6150:6548: 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒

E180:6160:6564: 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒

E190:6170:6580: 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒

E19E:6220:6600: 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒 疒

癸

ハツガンラ

E19E:6220:6600: 癸 癸 癸

白

シロノフ

E19E:6220:6600: 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀

皮

カガノフ

E19E:6220:6600: 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀

E1AE:6230:6616: 皀 皀 皀

皿

サラノフ

E1AE:6230:6616: 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂 盂

目

ハヘン

E1AE:6230:6616: 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇

E1BE:6240:6632: 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇

付録

シフトJIS:JIS :クテン : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
 E1CE:6250:6648: 宰 瞎 瞎 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶 瞶
 E1DE:6260:6664: 瞶 瞶

矛
ホコヘン

E1DE:6260:6664: 矜

矢
ヤシ

E1DE:6260:6664: 矣 矮

石
イシ

E1DE:6260:6664: 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃
 E1EE:6270:6680: 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃
 E23F:6320:6700: 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃 硃

示
シラス

E23F:6320:6700: 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀
 E24F:6330:6716: 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀

内
ウチ

E24F:6330:6716: 禹 禹

禾
ノキ

E24F:6330:6716: 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂
 E25F:6340:6732: 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂
 E26F:6350:6748: 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂 稂

穴
アナ

E26F:6350:6748: 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞
 E280:6360:6764: 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞 窞

立
タツ

E280:6360:6764: 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝
 E290:6370:6780: 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝 竝

<6画>
竹
タケ

E290:6370:6780: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵
 E29E:6420:6800: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵
 E2AE:6430:6816: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵
 E2BE:6440:6832: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵
 E2CE:6450:6848: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵
 E2DE:6460:6864: 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵 筵

米
コメ

E2DE:6460:6864: 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗
 E2EE:6470:6880: 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗 糗

糸
イト

E2EE:6470:6880: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E33F:6520:6900: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E34F:6530:6916: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E35F:6540:6932: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E36F:6550:6948: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E380:6560:6964: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵
 E390:6570:6980: 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵 紵

缶
ホケ

E390:6570:6980: 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇
 E39E:6620:7000: 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇

网
アミ

E39E:6620:7000: 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇
 E3AE:6630:7016: 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇 罇

羊
ヒツジ

E3AE:6630:7016: 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴 羴
 E3BE:6640:7032: 羴 羴

付録

JIS : 777 : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
 E59E:6A20:7400: 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮
 E5AE:6A30:7416: 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮
 E5BE:6A40:7432: 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮 蝮

血
チノブ

E5BE:6A40:7432: 岬 岬

行
ギョウガマエ

E5BE:6A40:7432: 衙 衙 衙 衙

衣
コロモン

E5BE:6A40:7432: 袁 袁
 E5CE:6A50:7448: 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞
 E5DE:6A60:7464: 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞
 E5EE:6A70:7480: 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞
 E63F:6B20:7500: 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞 袞

両
カノフ

E63F:6B20:7500: 兩 兩 兩 兩

<7画>

見
ミルヘン

E63F:6B20:7500: 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲
 E64F:6B30:7516: 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲 覲

角
ツノヘン

E64F:6B30:7516: 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚 觚

言
ゴメン

E64F:6B30:7516: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖
 E65F:6B40:7532: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖
 E66F:6B50:7548: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖
 E680:6B60:7564: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖
 E690:6B70:7580: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖
 E69E:6C20:7600: 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖

谷
タヘン

E69E:6C20:7600: 谿 谿
 E6AE:6C30:7616: 谿 谿

豆
マヘン

E6AE:6C30:7616: 豈 豈 豈 豈

豕
イノモン

E6AE:6C30:7616: 豕 豕 豕

豸
シノヘン

E6AE:6C30:7616: 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸 豸
 E6BE:6C40:7632: 豸 豸 豸

貝
カイヘン

E6BE:6C40:7632: 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈
 E6CE:6C50:7648: 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈 賈

赤
アカヘン

E6CE:6C50:7648: 赭 赭
 E6DE:6C60:7664: 赭 赭

走
ソウヨウ

E6DE:6C60:7664: 走 走 走 走

足
ソクヘン

E6DE:6C60:7664: 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅
 E6EE:6C70:7680: 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅
 E73F:6D20:7700: 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅
 E74F:6D30:7716: 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅 躅

付録

シフトJ:JIS :クテン : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
革 E8CE:7050:8048: 勒 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞
 E8DE:7060:8064: 鞋 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞 鞞

韋 E8DE:7060:8064: 韋 韋

非 E8DE:7060:8064: 非 齋 壺

音 E8DE:7060:8064: 音
 E8EE:7070:8080: 韶 韵 竟

頁 E8EE:7070:8080: 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤 頤
 E93F:7120:8100: 頤 頤 頤

風 E93F:7120:8100: 風 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯 颯

食 E93F:7120:8100: 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽
 E94F:7130:8116: 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽
 E95F:7140:8132: 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽

首 E95F:7140:8132: 旭 馘

香 E95F:7140:8132: 馥

<10画> E95F:7140:8132: 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥
馬 E96F:7150:8148: 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥
 E980:7160:8164: 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥

骨 E980:7160:8164: 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥
 E990:7170:8180: 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥 馥

高 E990:7170:8180: 馥

髟 E990:7170:8180: 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟
 E99E:7220:8200: 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟 髟

門 E99E:7220:8200: 門 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢 闢

鬯 E99E:7220:8200: 鬯

高 E99E:7220:8200: 高

鬼 E9AE:7230:8216: 魄 魅 魏 魍 魍 魍 魍 魍

<11画> E9AE:7230:8216: 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍
魚 E9BE:7240:8232: 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍
 E9CE:7250:8248: 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍
 E9DE:7260:8264: 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍 魍

鳥 E9DE:7260:8264: 鳥 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩
 E9EE:7270:8280: 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩
 EA3F:7320:8300: 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩

付録

JIS : 757 : +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
 EA4F:7330:8316: 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒 鵒
 EA5F:7340:8332: 鵒 鵒 鵒

鹵
ロノフ

EA5F:7340:8332: 鹵 鹹 鹽

鹿
シカノフ

EA5F:7340:8332: 鹿 麋 麋 麋 麒 麋 麋 麋

麥
バクニョウ

EA5F:7340:8332: 麥 麩
EA6F:7350:8348: 麩 麩 麩

麻
アサカンムリ
<12画>

EA6F:7350:8348: 麻

黃
キノフ

EA6F:7350:8348: 黃

黍
キヒノフ

EA6F:7350:8348: 黍 黏 糲

黑
クロノフ

EA6F:7350:8348: 黔 黝 黝 黝 黝 黝 黝 黝
EA80:7360:8364: 黝 黝 黝

菴
キノフ

EA80:7360:8364: 菴 蔽 菴

<13画>

鼈
ボウノフ

EA80:7360:8364: 鼈 龜 龜

鼓
ツツミノフ

EA80:7360:8364: 鼓 擊

鼠
ネズミノフ

EA80:7360:8364: 鼠 鼯

<14画>

鼻
ハナヘ

EA80:7360:8364: 鼻

齊
サイノフ

EA80:7360:8364: 齊

<15画>

齒
ハハ

EA80:7360:8364: 齒
EA90:7370:8380: 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧 齧

<16画>

龍
リュウノフ

EA90:7370:8380: 龍

龜
カメノフ

EA90:7370:8380: 龜

<17画>

龠
ヤクノフ

EA90:7370:8380: 龠

EA9E:7420:8400: 堯 楨 遙 瑤

付録

1/2角・1/4角文字コード表 62

㉠～㉡

ASK68K ver.1.0 4,54
 ASK68K ver.2.0 4,54
 ASK68K ver.3.0 3,54
 ASK ティレクトリ 34
 ENV1.ASK 34
 JIS コード 63
 JIS 第1水準漢字コード表 65
 JIS 第2水準漢字コード表 70
 POST.DIC 5
 X68K.DIC 5,33,42

㉢ 行

一括変換モード 31
 上付き文字 62
 英字への変換 21
 英字の入力 12
 エコーモード 8
 大文字/小文字の切り替え 13

㉣ 行

カタカナ・英字の登録 26
 カタカナへの変換 21
 カタカナの入力 12
 かな入力 11
 環境再設定 42,55
 環境設定キー 59
 環境ファイル 34
 環境ファイルのキー表記 38
 環境ファイルの変更 35
 漢字に変換 15
 漢字の修正 19
 漢数字の入力 24
 学習機能 30
 学習機能の切り替え 30
 キー操作一覧 58
 キー変更可能な機能一覧とその表記法 37
 記号入力 22
 キャラクタコード表 61
 区点コード 63

句読点 59
 コード番号入力 22
 コード番号入力の切り替え 23
 コード表示文字 62
 コマンドモード 8

㉤ 行

先読み一括変換モード 31
 差分ファイル 52
 システムラインモード 8
 シフト JIS コード 63
 下付き文字 62
 辞書 3,42
 辞書再編成 42,53
 辞書差分 42,52
 辞書の変更 33
 辞書ファイル 33,42
 辞書変更モード 33
 辞書編集 42,44
 辞書マーシ 42,50
 辞書ユーティリティ 42
 全角/半角の切り替え 13

㉥ 行

単語登録 25,47
 単語の編集 46
 単語の検索 49
 単語の削除 49
 逐次自動変換モード 32
 「つ」の入力 10,60
 テータ変換 42,54
 同音異義語の一覧表 16

㉦ 行


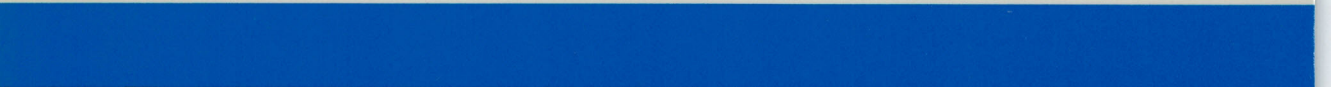
日本語入力 8
 日本語フロントプロセッサ 2,3
 ニューメリックキー 11
 入力モード 38

は行

非漢字全角文字コード	64
表示選択モード	16,59
ひらがなの修正	18
ひらがなのまま入力(確定)	14
ひらがなへの変換	21
品詞の指定	28
品詞の選択	46,47
フリーエリア	42
文節操作キー	58
文節の区切りを変える	19
変換	15
変換操作キー	58

ま～ん行

目的の漢字に修正	18
文字の修正	14
郵便番号変換	5
ローマ字/かな対応表	60
ローマ字入力	9
割り付け可能なキー	38
割り付け不可能なキー	39
「ん」の入力	10,60



パナソニック株式会社

本 社 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話(06) 621-1221(大代表)
電子機器事業本部 〒329-21 栃木県矢板市早川町174番地 電話(0287)43-1131(大代表)

TMAN-3740CEZZ

T0593-A ②